

鐵道省文書

所置	藏	別年	別種	細門部	門一第
倉庫	標名	自 大正 五年	至 大正 九年	國東鐵道	監督
	稱		卷一	二地方鐵道	
	番				
	號				

国立公文書館

分運 輸 省

類 (49)

掛架 3 A

番号 22-1

62

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 2



第一門監督

二 地方鐵道

1 免許

國東鐵道

自大正五年
至大正九年

卷一

倉庫
書櫃
棚架

順號	年	月	日	件	名	鐵道省	備考
一	三	一	五	八坂村間輕便鐵道敷設免許，件			
二	六	一	八	同上ニ對スル請書提出，件			
三	三	三	三	工事施行，件			
四	四	一	七	工事着手屆			
五	一	一	九	重役變更登記濟屆			
六	七	一	八	八坂間工程表提出，件			
七	二	一	六	取締役就任登記濟屆			
八	七	二	〇	八坂間工程表提出，件			
九	五	二	〇	線路及工事方法變更，件			
一〇	三	二	二	取締役就任登記濟屆			
一一	八	七	一	取締役並監查役就任登記濟屆			
一二	八	二	〇	八坂間工程表提出，件			
一三	九	二	二	取締役變更登記濟屆			
一四	九	三	一	八坂間工程表提出，件			
一五	九	二	九	取締役並監查役變更登記濟屆			
一六	一	二	二	八坂間工程表提出，件			
一七	二	二	四	取締役變更登記濟屆			
一八	二	一	八	事務取扱所屆			

終

三十八

第三八六號 大正五年
第四三二號 大正五年
淨書 校合

日受領
日達濟
日受領
日立案

庶務課長

監理課長

監督局長

副總裁

總裁

內閣總理大臣

內閣書記官長

國東鐵道敷設免許件
案

番號

三月
八

大分縣

免許狀

右申請ニ係ル大分縣東部郡富
八板村ヨリ同縣東部郡富
來町ニ至ル輕便鐵道ヲ敷設シ
旅客及貨物ノ運輸營業ヲ爲
スコトヲ免許ス
輕便鐵道法第三條ニ依ル認可申
請ハ大正五年三月迄ニシテ
提出ス

五年三月十四日

内閣總理大臣

案三
命令書
別紙一通

官報掲載案

輕便鐵道免許狀下付

大正五年十二月五日

國東鐵道株式會社

ニ對シ

輕便鐵道敷設免許狀ヲ下付セリ其ノ起業目論見

ノ概要左ノ如シ

(鐵道院)

鐵道種別	軌道幅員	線路	兩端	延長哩程	建設資金
蒸氣鐵道	二呎六吋	大分縣速見郡 八坂村	同縣東國東 郡富来町	三哩三錢	八十萬圓

裏面白紙

裏面白紙

鐵道院

本件ハ收支ノ關係良好ナラサレ
トモ別紙追願書ノ如キ特種ノ
事情アルヲ以テ同案不通處
理可然ト認ム

追テ本申請ト同時ニ工事施行認可申請
ヲ提出シアリテ免許上ハ直ニ技術者出頭
不備事項整理ノ筈ナレハ免許狀ニ工事
施行認可申請期限ノ指定ヲ有畧セリ

めくれず

命令書

國東鐵道株式會社

大正五年十二月十四日 日監第三八八號免許狀ヲ下付シタル輕便鐵道ニ付テハ左ノ條件ヲ遵守スヘシ
大正五年十二月十四日

內閣總理大臣

第一條 工事ハ輕便鐵道法第三條ニ依ル工事施行ノ認可ニ指定シタル期限内ニ著手シ竣功スヘシ
前項ノ期間ハ天災事變其ノ他正當ノ理由アル場合ニ限り其ノ伸長ヲ申請スルコトヲ得

第二條 給契約書ノ謄本ヲ添へ供給者ト連署ノ上認可ヲ受クヘシ
第三條 技術ニ關スル事項ヲ擔任セシムル爲主任技術者ヲ置き屆

出ツヘレ之ヲ變更シタルトキ亦同シ

主任技術者ヲ不適任ト認ムルトキハ其ノ解任ヲ命スルコトアルヘ

シ

第四條 工事ノ一部又ハ全部竣功シ運輸ヲ開始セントスルトキハ許可ヲ受クヘシ

第五條 旅客及荷物ノ運賃^(割引運賃ヲ含ム)_(以下同シ)其ノ他運輸ニ關スル料金ハ認可ヲ受クヘシ之ヲ變更セムトスルトキ亦同シ
政府ハ公益上必要ト認ムルトキハ運賃及料金ノ變更ヲ命スルコトアルヘシ

第六條 旅客及混合列車ノ發着時間度數ヲ定メ認可ヲ受クヘシ之ヲ變更セムトスルトキ亦同シ

天災事變其ノ他已ムヲ得サル事由ニ因リ一時變更ヲ爲シタルトキハ直ニ之ヲ届出ツヘシ

第七條 政府ハ他ノ鐵道又ハ軌道トノ連絡運輸又ハ直通運輸ヲ命スルコトアルヘシ

第八條 營業ノ全部又ハ一部ヲ休止シ又ハ廢止セムトスルトキハ

許可ヲ受クヘシ

第九條 他ノ業務ヲ營ミ又ハ社債ヲ募集シ若ハ鐵道及之ニ屬スル物件ヲ擔保トシテ負債ヲ爲ストキハ認可ヲ受クヘシ

第十條 鐵道ノ貸借又ハ營業ノ管理委託ヲ爲サムトスルトキハ貸借又ハ管理委託ニ關スル契約書ノ謄本ヲ添ヘ雙方連署ノ上認可ヲ受クヘシ

第十一條 他ノ會社ト合併セムトスルトキハ合併ノ事由及方法ヲ記載シ雙方連署ノ上認可ヲ受クヘシ

第十二條 鐵道ヲ讓渡セムトスルトキハ讓受人ト連署ノ上許可ヲ受クヘシ

第十三條 政府ハ監査員ヲ派遣シ工事ヲ監視セシメ又ハ鐵道ノ設備並運輸保線ノ方法ヲ監査セシムルコトアルヘシ

監査員ニ於テ説明ヲ求メ又ハ關係書類圖面ノ檢閲ヲ求メタルトキハ之ヲ拒ムコトヲ得ス

工事力工事方法書又ハ法令若ハ法令ニ基キテ發スル命令ニ違ヒタルトキハ其ノ改築又ハ工事ノ停止ヲ命スルコトアルヘシ

鐵道ノ設備又ハ運輸保線ノ方法カ不適當ナリト認ムルトキハ何時ニテモ必要ナル施設ヲ命シ若危險ナリト認ムルトキハ運輸又ハ使用ヲ停止スルコトアルヘシ

第十四條 政府ノ派遣シタル官吏ニ於テ鐵道ニ關スル會計及財産ノ検査ヲ求メタルトキハ之ヲ拒ムコトヲ得ス

第十五條 陸海軍官憲ニ於テ鐵道ヲ軍用ニ供スルコトヲ命シタルトキハ之ヲ拒ムコトヲ得ス

前項ノ場合ニ於テハ明治三十七年勅令第十二號鐵道軍事供用令及同年陸軍省令第三號鐵道軍事輸送規程ニ準スルモノトス但シ其ノ料金ハ客車一輛ニ付其ノ定員數ニ當該客車等級ノ運賃ヲ乘シタルモノノ二分ノ一貨車ハ貨切料金ノ二分ノ一トシ二十哩以下(他線ト連
場合ハ全輸送哩
程二十哩以下)ノ輸送ニ在リテハ二十哩分ノ料金ヲ給ス

第十六條 鐵道線路一部免許失效シ又ハ取消サレタル場合ニ於テ公益上必要ト認ムルトキハ他ノ全部又ハ一部ノ免許ヲ取消スコトアルヘシ

第十七條 左ノ場合ニ於テハ免許ハ其ノ效力ヲ失フ

一 免許狀ニ指定シタル期限內ニ工事施行ノ認可ヲ申請セサルトキ又ハ其ノ申請ヲ爲ストモ認可ヲ得サルトキ

二 工事施行認可申請前ニ會社成立セサルトキ
三 工事施行ノ認可ニ指定シタル期限內ニ工事ニ著手セス又ハ之ヲ竣功セサルトキ

三 營業ノ全部ヲ廢止シタルトキ

四 營業滿期ノトキ

第十八條 政府ハ公益上必要ト認ムルトキハ何時ニテモ鐵道及附屬物件ヲ買收スルコトアルヘシ

前項ノ場合ニ於テ本鐵道ノ連絡上必要アルトキハ延長線ノ一部又ハ全部ヲ併セテ買收スルコトアルヘシ
買收價格ハ最近六營業年度間ニ於ケル建設費ニ對スル益金ノ平均割合ヲ買收ノ日ニ於ケル建設費ニ乘シタル額ヲ二十五倍シタル金額トス

前項ノ益金トハ營業收入ヨリ營業費(借入金ノ利
子ヲ除ク)賞與金ヲ控除シタルモノヲ謂ヒ益金ノ平均割合トハ六營業年度間ニ於ケル毎年度末ノ

開業線建設費合計ヲ以テ同期間ニ於ケル益金ノ合計ヲ除シタルモノノ二倍ヲ謂フ

買收ノ日ニ於テ運輸開始後未タ六營業年度ヲ經過セサル場合又ハ、第三項ノ金額カ建設費ニ達セサル場合ニ於テハ政府ハ其ノ建設費以内ニ於テ協定シタル金額ヲ以テ第三項ノ金額ニ代フ

鐵道及附屬物件ノ狀態不完全ナルトキハ其ノ補修ニ要スル費額ハ買收價額ヨリ之ヲ控除ス

前項補修ニ要スル費額ニ付協議調ハサルトキハ政府ノ選定シタル鑑定人ノ意見ヲ徵シ政府之ヲ定ム

買收代價ハ公債證書ヲ以テ交付スルコトアルヘシ此ノ場合ニ於テハ券面金額ニ依リ四分利付公債證書ヲ以テ之ヲ交付シ五十圓未満ノ端數ハ之ヲ五十圓トス

第十九條 政府ハ公益上必要ト認ムルトキハ工事方法ノ變更ヲ命シ又ハ本命令書ヲ變更スルコトアルヘシ

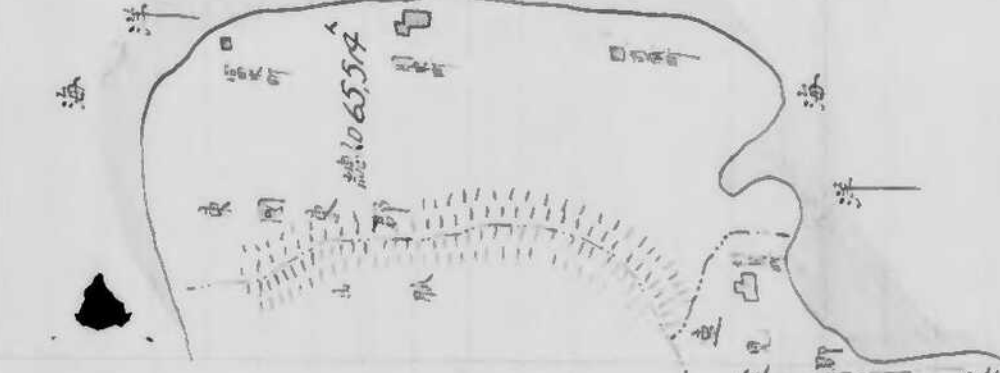
第二十條 將來定メラルル法令ノ結果トシテ本命令書ノ條項ニ變更ヲ來タスコトアルモ之ヲ拒ムコトヲ得ス

敷設費用概算書

營業收支概算書

東鐵道出願線

線路工用土橋溝伏陸軌停車庫器械諸運建築用汽車建築用具柵垣及境界杭電信線架設電線電所發變總



鐵道、種、形、間、長、
標準、地、間、
區、
延、
平均一哩ノ標準人口、
貨物輸送標準、
旅客全上、
貨物噸哩、
同每一哩、
同一日一哩、
旅客人哩、
同每一哩、
同一日一哩、
貨物收入、
同每一哩、
同一日一哩、
旅客人哩、
同每一哩、
同一日一哩、
雜收入合計、
同一日一哩、
營業費、
同一日一哩、
純損失、
建設費、
建設費ニ對スル純益割合、
他線影響

第貳種輕便鐵道
勾配線
八坂村富永用
22-36-850 = 22.5
2900.
9.
10.
221730.
9855
27.
1001925.
94530.
122.
886932
394.2
1.09
20,030.5
890.6
2.44
578.16
29486.18
3.59
49118.963
5901.
19,632.783

合計
一哩ニ付

本鐵道、如右特種、勢力範圍、有之、諸般、經濟調查、以上ニ示シテ、
弱、結果ヲ示ス、特種貨客等、間、
實地調査、上ナラハ、決定、難シ

裏面白紙

起終點及經過地名	動力 距離 鐵道 關係	知事 副知事 要旨	發起人及重名	資本金 建設費 備考
大正五年十月二十九日出願 大分縣 經山 大正五年十一月二日 大正五年十月大日受付 國東鐵道株式會社 取締役 後藤田牛一 大分縣東見郡八坂村官線杵築停車場附屬 杵築町東國東郡大内村奈符江村安岐町廿藏 町旭村國東町ヲ經テ今郡富來町ニ至ル	廿二哩三十分大鐘八十五節 軌間 二呎六吋 新設軌道 道路 上	本件ハ要約ニ事ヲ依リ認可シ中決ニ對シ不認可ノ指令アリ失効ト ナリタルモノナリ此レモ線路敷設及管轄所決定ニ多數時日ヲ経過 シ其申請書提出遲延セシ爲メ不認可ノ處分アリ之ヲ以テ思料セラルベ キ特別ノ除議ヲ以テ之ヲ許可スルモノナリ	既設會社	金八十萬圓 一株ノ金額 五十圓

東亞

裏面白紙

勸第一三一三五號

輕便鐵道敷設免許

追願書執達副申

管下國東鐵道株式會社社長後藤田千一
ヨリ同鐵道敷設免許追願書提出、處右ハ
記載、通、狀況ニ付特ニ至急再免許、御
詮議相成候様致度別紙執達此段及副
申候也

大正五年十二月十九日

大分縣知事力石雄一郎



内閣總理大臣伯爵寺內正毅殿

大分縣

追願書

本年十月二十九日附ヲ以テ國東輕便鐵道敷設免許申請仕候處元來本鐵道ハ單ニ營利ノミヲ目的トセス該地方ノ開發ヲ主トセルモノニ有之候然ルニ會社設立後幾許モナク内部ニ不正事件突發シ爲ニ一時會社ハ殆ト理事者ナキ状態ト相成其ノ當時認可申請中ノ工事施行ニ関スル御指示事項ノ整理ハ之力爲高モ進捗スル能ハスシテ徒ニ遷延致候然ルトモ爾來本縣知事並東國東郡

國東鐵道株式會社

長ノ配慮アリ旁々刷新ヲ計リ重役ノ更任株式ノ整理及線路ノ選定等漸々内部ノ整理ヲ了ハ將ニ外部關係ノ進轉ニ就カムトスル折柄工事施行不認可ノ御處分ニ接シタルハ固ヨリ會社ノ不始末ニ起因致候得共誠ニ遺憾ノ次蔑ニ御座候乍然現在総株式壹万六千株中貳千百五拾株ハ重役貳千株ハ東國東郡四千五百五拾株ハ東國東郡内一般人七千參百株ハ其他一般人ノ確實ナル引受アリ且ツ東國東郡内ノ本鐵道

用地ハ郡費ヲ以テ買収ノ上無償提
供スルノ慣定モ有之候叙上ノ事情
ニ付萬一營業上ノ収支計算ハ假令
欽損ヲ来ス、掛念アリトモ又将来
補助御許可相成ラサルコトアリトモ会
社ハ免許後急速本事業遂行、
見込有之候間何卒速ニ御願
許被成下度此段追願仕候也

大正五年十一月二十二日

國東鐵道株式會社取締役

社長 後藤田千



國東鐵道株式會社

内閣總理大臣伯爵寺内正毅殿

5 11. 10.7

1 國東鐵道

輕便鐵道敷設免許件

本件支障ナレト認ム

課長

主任
受領大臣 5 年 11 月 7 日
閣下大臣 5 年 11 月 10 日
日数 7
課長
主任
取
馬

1 國東鐵道

一 輕便鐵道敷設免許件

一起業目論見書第四項記載、線路延長、線路平面圖及同

縦断面圖所載、モノト一致セズ

一 同上第五項記載、鐵道軌間、別途提出ニ係ル工事施行認

可申請書所載、モノト一致セズ

一 工費豫算書中線路用地及停車場用地、敷設の長を勘定する過シナリ尚橋梁溝

橋、数量、線路圖所載、モノト一致セズ

一 左記事項ハ線路平面圖及縱断面圖所載、モト一致セズ

① 三哩四十九鎮及五哩三十鎮附近ニ於ケル重鎮ノ記載ナシ

② 五哩十八鎮附近守江川橋梁径間

③ 八十二哩六十四鎮附近暗渠径間

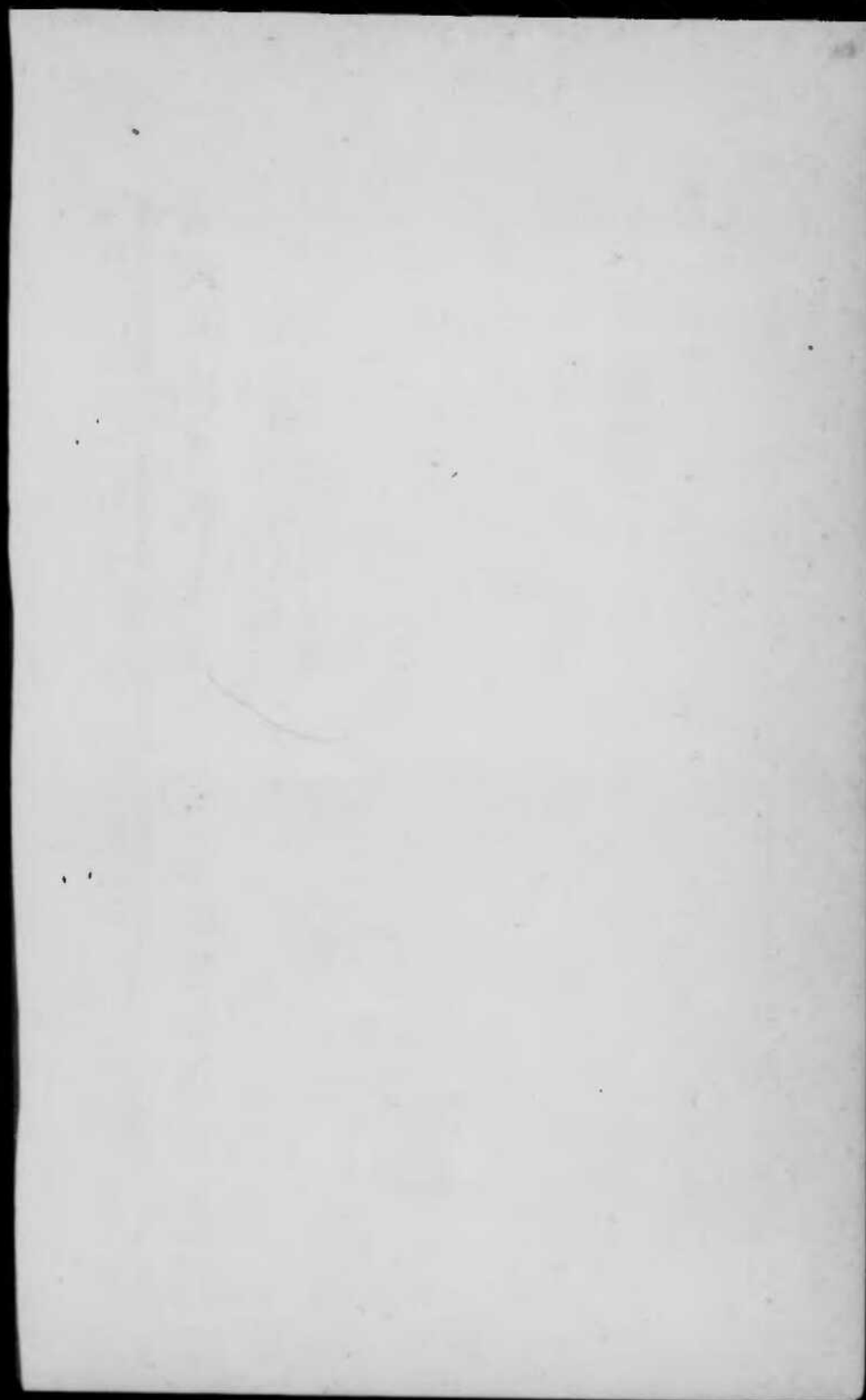
④ 三十九哩二十八鎮附近田深川橋梁及其前、果道位置哩程ハ誤記

ナリ

一 工費豫算書ニ記載セシ毎一哩ノ建設費ハ總額ト一致セズ尚

收支概算書ニ記載セシ貨物屯哩旅客人哩營業收支金額

額等ハ何レモ計算哩ニ誤リアルヲ以テ再調提出スルコト又貨
物壹屯哩輸送賃金ハ高キニ失ス



勸業二八五〇號

輕便鐵道敷設申請書執達、自副中

管下東國東郡國東町國東鐵道株式會社
 可錦役社長後藤田十一、管下速見郡八
 坂村院線杆築驛附近より東國東郡富
 末町、至ル間、輕便鐵道敷設許可申請書
 別紙提出、自可調、如本件、業、提出セ
 工事施行認可申請、對シ不認可、御指合
 相成、結果遂、失効ト相成、有之、然
 右、業、申請セ、線路中一部變更、
 要、箇所有之、力決定、多數、時日、過
 線路變更申請書提出、遲延、セ、為不認
 可、御處分相成、思料致、而、今、回

線路、適當、變更、工事施行認可申請
 書同時、提出、致、義、自御免許、上、真
 工事、着手、スル、モ、ト相認、小、条、特、別、御、詮
 議、以、テ、至、急、御、免、許、相、成、小、標、致、度、大、記
 事項、具、此、段、副、申、候、也

大正五年十一月二日

大分縣知事力石雄一郎

内閣総理大臣伯爵寺内正毅殿

記

一事業公益上ノ関係及起業ノ適否

本輕便鐵道經過、大部分ハ東國東郡沿海ニシテ一部ハ速見郡内ハ板村、桑地方ヲ跨ルモ由來國東半島ハ從來ニ於テモ特ニ今地方ニ所用アル者、外ハ通過セサル地方ナリシニ今日ノ如ク豊洲本線ハ早ニ八坂村ヨリ日出所ニ出ツルニ至リテハ餘ハ同地方ヲ經過スル旅客少ク僅ニ其往來スルモノモ多ク乗入馬車又ハ不定期汽船、航海ヲ待ツノ状況ナリ然ルニ全地方ハ豊後特産、豐後素、生、出、本、場ニシテ毎年、生産額約三百萬、枝、多、キニ達シ内外輸送ノ便ニ當ル船舶及荷馬

車並、商人、未往ハ逐年多キヲ加ヘ輒近商取引、確實急遽ヲ要スル爲メ從來、如ク荷馬車又ハ不定期汽船若クハ和船、便ヲ用ヒ難リ切ニ完全ナル交通機関ヲ期待シ一面ニ道路、改築等ヲ令ツルモ尙完キヲ得ス地方官民、不便甚タシク風ニ遺憾トスル所ナリ何テ本鐵道、如キ交通機関ノ敷設ヲ得ハ一般ノ利益極メテ多トナルハキヲ信ス而テ其起業モ亦極メテ適當ナルモト認ム

二事業ニ依リ經濟上ノ変動如何及起業ニ依

リ損害ヲ蒙ル程ト度
本事業ハ前記、通り地方適切ノ事業ニシテ官民一同、切望スル所ニシテ之カ爲メハ地

方埋没ノ生産業ニ自然ニ起ル、就中青花苳及
之ニ随伴スル各事業ハ従テ興起シ其他林産水産
物等相踵テ興殖スヘキヲ以テ地方経済上ノ福
利多キハ勿論之カ資本モ多ク今地方固定資
本ヲ更ニ有利ニ轉用スルニ至ルヘキヲ以テ地方ハ好
都合ナレヘリ獨ニ荷馬車及乗合馬車營業
者、如キハ或分ノお弊ヲ生ズルヘシト雖具等ハ
自然ノ理數ニシテ更ニ亦他ノ方面ニ活動スルニ至ル
ヘキヲ信ス

三、免許後事業ニ着手スルヤ否

本鉄道ハ大正三年十月四日付敷設ノ免許ヲ興
ヘラレ大正三年六月八日工事施行認可ヲ申
請シタルニ線路ノ一部即チ八坂村内ニ於テ村

會、異議ヲ生シ之カ爲線路ノ変更ヲ要スルニ
至リシモ漸ク異議ナキ線路ノ決定ヲ見
株式會社集亦已ニ完了シ今ヤ工事ニ着手
シ得ル時ニ到リ突如失致シタル凶弊
ニシテ免許ノ上ハ直ニ工事ニ着手スルニ
ノト認ム



國東鐵道敷設許可申請書

國東鐵道株式會社

發芽一〇八号

玉東鐵道敷設許可申請書

勅

當房社、大分縣速見郡、坂村官設鐵道、村、梁驛、附近、全、村、村、梁、所、東、玉、東、郡、大、内、村、奈、符、江、村、安、岐、町、武、藏、町、旭、日、村、玉、東、町、三、全、村、高、耳、町、至、川、間、輕、便、鐵、道、敷、設、旅、客、貨、物、運、送、業、本、官、度、支、間、在、所、の、支、度、別、紙、記、業、目、滿、見、書、敷、設、費、用、概、算、書、官、業、收、支、概、算、書、線、路、豫、測、平、面、圖、及、縱、斷、面、圖、を、添、付、し、申、請、候、也、
大正五年十月二十九日

玉東鐵道株式會社

取締役社長後藤田千一

國東鐵道株式會社

内務省鐵道大臣伯爵寺内正毅殿

起業目論見書

一、當會社、目的ハ大分縣速見郡八坂村ヨリ同縣東國東郡富来町ニ至ル間ニ輕便鐵道ヲ敷設シ旅客及貨物ノ運送業并ニ同縣富来町ヨリ山口縣徳山港ニ至ル海上運輸業ヲ営ムモノトス

二、當鐵道ハ國東鐵道ト称シ本社ヲ大分縣東國東郡國東町ニ設置ス

三、本事業資本、總高ハ金八拾萬圓ニシテ之ヲ壹萬六千株ニ分テ壹株ノ金額ヲ金五拾圓トス

國東鐵道株式會社

四、當鐵道、線路ハ大分縣速見郡八坂村官設鐵道杵築停車場附近ヲ起点トシ同縣速見郡杵築町、同縣東國東郡大内村、奈狩江村、安岐町、武蔵町、旭日村、國東町ヲ經テ同郡富来町ニ至リ總延長貳拾貳哩參拾六鎖八拾五節八トス

五、鐵道、軌間ハ貳呎六吋ト為シ線路勾配ハ五十分、一ヲ最急トシ曲線半徑ハ五鎖ヲ最久ト為シ重量八噸内外、機關車ヲ使用スルモノトス

六、當會社ノ營業期間ハ創立ノ日より
向フ九十九ヶ年トス

七、本社業務ハ定款ニ定ムル如ク陸
上運送及海上運輸業ヲ営ムヲ以
テ目的トスト虽事業経営上第一
期事業トシテ陸上運送業ヲ経営
シ第二期事業トシテ海上運送業
ヲ経営スルコトニ決定セリ而シテ第二
期事業ハ之ヲ増次員ニ待ツテ遂
行スル方針ナリ因テ本月論見書
ニ之ヲ省ク

定

款

國東鐵道株式



國東鐵道株式會社定款

第一章 總則

第一條 本會社ハ國東鐵道株式會社ト稱ス

第二條 本會社ハ本社ヲ大分縣東國東郡國東町ニ設置ス

便宜ノ地區ニ支社又ハ出張所ヲ設置スルコトヲ得

第三條 本會社ハ左記ノ業務ヲ營ムヲ以テ目的トス

大分縣東國東郡富來町ヨリ同縣速見郡八坂村ニ至ル輕便鐵道ヲ布設シ
陸上運送ノ業ヲ營ミ尙大分縣富來町ヨリ山口縣德山港ニ至ル海上運輸
ノ業ヲ營ムモノトス

第四條 本會社ノ資本金額ハ八拾萬圓トス

第五條 本會社ノ公告ハ本店ノ所轄裁判所ノ公告新聞紙ノ中一個ノ紙上ニ掲載
ス

第二章 株式

第六條 株式ハ壹個ノ金額ヲ金五拾圓トス

第七條 株券ハ記名トシ一株五株拾株ノ三種トス

第八條 株式ノ拂込ハ第一回ヲ金五圓トス第二回以降ハ取締役ノ決定スル所ニ依ル

第九條 株式ノ拂込ヲ怠リタルモノハ期日ノ翌日より利率壹百圓ニ付キ一日金四錢ノ遅延利息ヲ附シ且遅延ノ爲ニ生シタル費用ヲ辨償スヘキモノトス

第十條 株券ノ併合分割再度ノ交附移轉ノ登録及株券所掲事項ノ變更規定ハ取締役ノ定ムル所ニ從フ

第十一條 株券ノ書換ハ定時總會開會以前一定ノ期間之ヲ停止スルコトヲ得

第三章 株主總會

第十二條 定時總會ハ毎年一月及七月ニ之ヲ開ク

第十三條 株主ハ本社ノ株主ヲ以テ代理人トシ總會ニ出席セシムルコトヲ得

第十四條 議決權ハ株式壹株ヲ壹個トス

第十五條 總會ノ議決事項ハ議事録ニ其ノ要旨ヲ摘録シ出席セル取締役壹名株主貳名以上記名捺印シテ之ヲ保存スヘキモノトス

第四章 取締役監査役及相談役

第十六條 取締役ハ九名以内監査役ハ五名以内ヲ置ク取締役ハ互選ヲ以テ社長及専務一名常務二名以内ヲ選任ス

取締役會ノ決議ニヨリ相談役若干名ヲ置クコトヲ得

本會社ヲ代表スヘキモノハ社長又ハ専務取締役トス

本會社ノ業務執行ハ社長又ハ専務取締役之ニ任シ差支アルトキハ他ノ取締役之ニ代ハル

左記五十二日臨時
株主總會ハ於テ第十六
條中株主ノ選任ハ
ス

第十七條 取締役ノ所有スヘキ株式員數ハ壹百株以上トシ監査役ハ五拾株以上トス

第十八條 取締役ノ任期ハ三年トシ監査役ハ二年トス但商法第六十六條及第百

八十九條任期俾長ノ規定ニ從フ

缺員ヲ生シタルトキハ補缺選舉ヲ行フ留任ノ人數ハ法定ノ員數ニ足ル

トキハ選舉ヲナサ、ルコトヲ得

補缺ノ任期ハ前任者ノ殘任期間トス

第十九條 取締役力監査役ニ供托ヘキ株式員數ハ壹百株トス

第五章 計算

第二十條 毎年六月及十二月ノ末日ヲ以テ決算ヲナスヘキモノトス

第二十一條 損益計算ノ結果純益ノ處分ハ左ノ各項ニ依ル

一、法定積立金

一、交際及慰勞金

一、配當

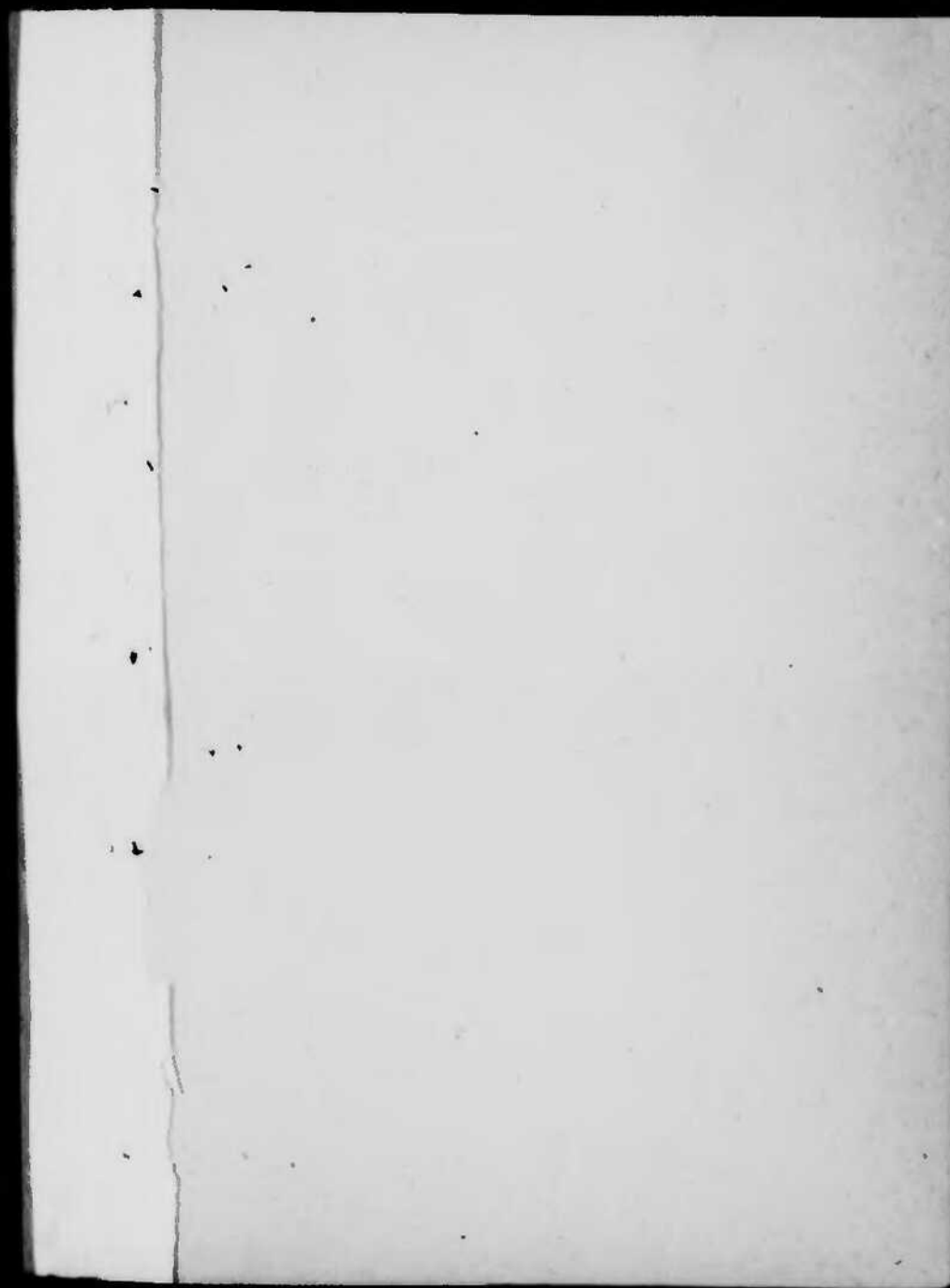
一、計算殘餘ハ特別積立ヲナシ或ハ後期繰越トナスヘキモノトス

第二十二條 配當ハ決算末日現在ノ株主ニ分ツモノトス

第六章 附則

第二十三條 設立費用ハ金壹萬五千圓以下トス

第二十四條 設立發起ノ人名住所左ノ如シ



国東鐵道踏測線

杵築富永間輕便鐵道敷設費概算書

貳拾貳哩參拾大錢八拾五節八

項	数	量	平均單價	全	高	計	備	考
測量及工事監督費	天			15,000	000	15,000	000	
用地費	40	000	420	000	16,800	000	16,800	000
		279	000					郡に費したるを以て
土工費	2坪					197,500	000	
	55,000	000	2	50	137,500	000		70坪
	48,000	000	1	250	60,000	000		地上
橋梁費	延長					105,917	500	
	1165	750	90	000	104,917	500		
	20	000	50	000	1,000	000		時に入力
溝橋費	10坪					24,100	000	
	16	1	600	000	9,600	000		同費
	3	1	3,000	000	9,000	000		橋梁
	11	1	500	000	5,500	000		暗渠
伏樋費						14,160	000	
	8		300	000	2,400	000		掛樋
	392				11,760	000		10坪
軌道費	25		11,000	000	275,000	000	275,000	000
停車場費	10		2250	000	22,500	000	22,500	000
車輛費						70,000	000	
諸建物費						100,000	000	
柵及境界札費						2,000	000	
電話費						10,000	000	
総係費						37,022	500	
合計						800,000	000	敷設費
一連合計			35617	730	800,000	000	800,000	000

裏面白紙

國東鐵道隊測線

國東鐵道收支概算書

路	建設費	貨物噸哩	旅客人哩	貨物收入	旅客收入	營業費	鐵道純益	摘要
	合計 每一哩	合計 每一哩	合計 每一哩	合計 每一哩	合計 每一哩	合計 每一哩	合計 每一哩	
	80,110.00	356,177.3	327,926.6	14,600.286	2,357.6	127,750.19	615.6	8760
								71,733.94
								3,193.75
								51,238.53
								228.25
								40,171.01
								0.0502
								更正哩 22,368.58 = 22,460.725
								貨物噸哩 - 對全六錢
								旅客人哩 - 對全六錢五厘

4282 4
5

十二月十四日
貴電拝誦
大分縣知事
御配慮深謝
又

[illegible]

皇
手
書
4252
5 12 13

十二月五日
國東録道
御詮議
大分縣
知事
至急





THE UNIVERSITY OF CHICAGO

44
45
46
47
48

外 國 人 に 對 し て の 電 報 料 金 運 送 手 続 及 其 の 規 則

附刊

秋

○ 〓 〓 〓

35

●注意

34

紙 達 送 在 電 242

受付月日の記入を省略したるものは受付の當日若局に於て受領したるものとす

[illegible]

土十四

第二八五號大正五年

十一月七日受領

淨書校合

第四三三號大正五年

十一月九日受領

庶務課長

監理課長

監督局長

副總裁

陸軍省二通牒案

番號

年月日

副總裁

陸軍次官宛

陸軍省

陸軍省

47912

38

通牒

國東鐵道株式會社ヨリ別紙圖面ノ通輕便鐵道敷設免許申請有之候處不日免許可相成候條右様了知相成度

追テ本鐵道ハ大正二年十月四日免許セラレ本年十月二十三日官報掲載ノ用失效此れを以テ再申請此れノ有上候条及念由添奉

株式會社登記謄本

登記 番號	第 〇 號
登記 ノ年	大正 年 月 日 登記
登記 ノ月	第 〇 欄
登記 ノ日	第 〇 欄
官 印	第 〇 欄
一 商 號	國東鐵道株式會社
二 本 店	大分縣東國東郡國東町三丁目
三 支 店	
四 目 的	本會社國東郡國東町より向新通交野八坂に至る輕便鐵道ヲ建設シ陸上運送ノ業ヲ営ミ尚ホ本郡富津ノヨリ山口有徳山港ニ至ル海上運送ノ業ヲ営ムス
五 設 立 ノ 年 月 日	大正 年 月 日 登記
六 資 本 ノ 總 額	金 八拾萬圓
七 一 株 ノ 金 額	金 五拾圓
八 各 株 主 ノ 持 有 株 金 額	金 五拾圓
九 公 告 ノ 方 法	本社、野城、新所、公告、野城、中、一個、以上、二、楊、或、二
十 取 締 ノ 役 氏 名 所	野城、新所、公告、野城、中、一個、以上、二、楊、或、二

株式會社登記謄本

監 査 役 氏 名 所	岡山縣岡山市上ノ丁 岩谷 善地 靜岡縣濱松市東區板町 子安 善地 齊 藤 德 司 岡山縣岡山市東區山下 於 香 山口縣都濃郡富田町 子 於 香 香 地 道 源 權 次
一 存 立 ノ 期 又 ハ 解 散 ノ 事 由	定メナシ
二 存 立 ノ 期 又 ハ 解 散 ノ 事 由	定メナシ
三 當 業 前 二 配 率 ス ヘ キ 利	定メナシ
四 社 債 ノ 總 額	
五 各 社 債 ノ 金 額	
六 社 債 ノ 利 率	
七 社 債 ノ 還 方 法 及 ヒ 期 限	
八 增 加 資 本 ノ 總 額	
九 資 本 増 加 決 議 ノ 年 月 日	
十 各 株 主 ニ 付 キ 拂 込 ミ タ レ 株 金 額	
十一 優 先 株	
十二 主 ノ 權	
一 利	
二 解 散 ノ 事 由 及 ヒ 年 月 日	
三 清 算 ノ 人 氏 名 所	
四 清 算 ノ 期 日	
五 設 立 ノ 年 月 日	
六 資 本 ノ 總 額	
七 一 株 ノ 金 額	
八 各 株 主 ノ 持 有 株 金 額	
九 公 告 ノ 方 法	
十 取 締 ノ 役 氏 名 所	

備

變

更

株式會社登記謄本

即ハ孰レ文辭任シタルニ依リ以上
各名ノ取傭役ヲ以テ今社ラ代
表スベキ取傭役トナシタルヲ記
ハ之ヲ坪満ス
右五至五年於是内於此日ヲ記

本号取記事項中
監査役青菱徳司、大正四年
三月四日辞任シタル依リ林浦
右記、大正四年三月廿日取記

本号取記草次中
取俸役中村五一、古五、中吉月
外於近日辞任三回、林浦入
右古五、中吉、古月七日登記

本号承記事項中、右ノ通り
變更ス、
上ノ如キ旨、於各株主、
ニ於テ取償後、及ニ監査役選
出等、処左ノ如ク、尚選就任ス
一、取償後、佐々氏名

變

更

變

更

本早秋記半頃中
取錦級梓井松三印
池月亦於近日梓
在古西亭年五月廿日
記

本号取記事項右通り追加
 津藩ニ依リ右記取俸役ヲ以テ
 会社ニ代表スベキ取俸役トス
 取俸役
 演本義頭
 同
 小野信次郎
 右大正四年八月六日取記

本号及記事項中
一 取締役・渡本・義興・大正六年十月
是日取締役・小畑信次郎・
大正六年十月廿八日取締役・出
元貞太郎・大正六年十月廿八日
監査役・中野重・大正六年十月
廿八日取締役・大正六年十月廿八日
市蔵・大正六年十月廿八日
執・大正六年十月廿八日
取締役・渡本・義興・大正六年十月
廿八日取締役・小畑信次郎・
大正六年十月廿八日取締役・出
元貞太郎・大正六年十月廿八日
監査役・中野重・大正六年十月
廿八日取締役・大正六年十月廿八日
市蔵・大正六年十月廿八日
執・大正六年十月廿八日

兵庫郡川辺郡尼ヶ崎町、及び所
村七百七ヶ所、領地

味松利吻

向跡逢見柳杆葉町
八百廿六
八番地
高橋
弘吉

田跡集玉東部玉東町七百廿五番地
寺川長一郎

德和孫德和布菴屋町字
竹菴凡町於此地一志

高木次郎

監査役、佐川氏名
徳島縣板野郡撫養町

杉女堂志

大正五年九月二日

本子記聖蹟中

古五平
理貞辭任三國
林浦
取帝報小

在書山五峯園八口記

木子記堂頂中

古正甲寅日德令三於丁

取錄後，
處左記，
元一當異就

任人

取歸後佐小氏名

香戸

大石大

長江、鄱陽湖、東部地、
來此地

株式會社登記謄本

中
卷
八
部

右方如牛頭狀也

變文

變

荳為米之節

田部王、市川、九
八、米、地

安森園主

監査役、佐川氏名

大和物部玉東新田部葉叶百六十
番地

一井源志

反三

八坂之流

白粉合 鄧析乘叩 五石於八
來日他 中村忠夫

中村忠志

何縣東玉部旭日有百八

高橋子十郎

田林田部西安經和太字油留
木等个古音考於分音地

丁

国立公文書館
National Archives of Japan

裏面白紙

此謄本ハ登記簿ニ依リ之ヲ作り茲ニ登記簿ト相違ナキコトヲ認證ス

大正

五年拾月八日

七区裁判所

鶴川出張所

裁判所書記 小堀 芳雄



217

御請書

佐賀県田原

監第二二八六號

免許狀

國東鐵道株式會社

右申請ニ係ル大分縣速見郡八坂村ヨリ同縣東國東郡富來町ニ至ル輕便鐵道ヲ敷設シ旅客及貨物ノ運輸營業ヲ為スコトヲ免許ス

大正五年十二月十四日

内閣總理大臣伯爵寺內正毅



大分縣大正六年一月十五日
佐賀縣第四 三 郡

國東鐵道株式會社

右御請仕候也

大正五年十二月二十五日

國東鐵道株式會社

社長後藤田千



内閣總理大臣伯爵寺內正毅殿

23

43

御請書

命令書

國東鐵道株式會社

大正五年十二月十四日監第二二八六號免許狀
ヲ下付シタル輕便鐵道ニ付テハ左ノ條件ヲ
遵守スヘシ

大正五年十二月十四日

國東鐵道株式會社

内閣總理大臣伯爵寺內正毅



第一條 工事ハ輕便鐵道法第三條ニ依ル工事施行

ノ認可ニ指定シタル期限内ニ著シ竣功スヘシ

前項ノ期間ハ天災事變其ノ他正當ノ理由アル
場合ニ限り其ノ伸長ヲ申請スルコトヲ得

第二條 軌條ハ内地製作品ヲ使用スヘシ

但シ特別ノ事情ニ因リ認可ヲ受ケタルトキハ
此ノ限ニ在ラス

第三條 技術ニ関スル事項ヲ擔任セシムル爲主任技術者ヲ

置キ届出ワヘシ之ヲ變更シタルトキ亦同シ

主任技術者ヲ不適任ト認ムルトキハ其解任ヲ命スルコトアルシ

第四條 工事ノ一部又ハ全部竣功シ運輸ヲ開始セムト
スルトキハ許可ヲ受クヘシ

第五條 旅客及荷物ノ運賃割引運賃ヲ金ハ以下同シ

其ノ他運輸ニ関スル料金ハ認可ヲ受クヘシ之ヲ

變更セムトスルトキ亦同シ

政府ハ公益上必要ト認ムルトキハ運賃及料金ノ

變更ヲ命スルコトアルヘシ

第六條 旅客及混合列車ノ發着時間度数ヲ定メ認
可ヲ受クヘシ之ヲ變更セムトスルトキ亦同シ

國東鐵道株式會社

天災事變其ノ他已ムヲ得サル事由ニ因リ一
時變更ヲ爲シタルトキハ直ニ之ヲ届出ワヘシ

第七條 政府ハ他ノ鐵道又ハ軌道トノ連絡運輸又

ハ直通運輸ヲ命スルコトアルヘシ

第八條 營業ノ全部又ハ一部ヲ休止シ又ハ廢止セ
ムトスルトキハ許可ヲ受クヘシ

第九條 他ノ業務ヲ營ミ又ハ社債ヲ募集シ若ハ
鐵道及之ニ屬スル物件ヲ擔保トシテ負債

ヲ爲スルトキハ認可ヲ受クヘシ

第十條 鐵道ノ貸借又ハ營業ノ管理委託ヲ爲
サルトスルトキハ貸借又ハ管理委託ニ関スル

契約書ノ謄本ヲ添ヘ雙方運署上認可ヲ受ク

ヘシ

第十一條 他ノ會社ト合併セムトスルトキハ合併ノ
事由及方法ヲ記載シ雙方運署ノ上認可ヲ
受クヘシ

第十二條 鐵道ヲ讓渡セムトスルトキハ讓受人ト
運署ノ上許可ヲ受クヘシ

第十三條 政府ハ監査員ヲ派遣シ工事ヲ監視セシ
メ又ハ鐵道ノ設備並運輸保線ノ方法ヲ監査
セシムルコトアルヘシ

監査員ニ於テ説明ヲ求メ又ハ關係書類圖
面ノ檢閲ヲ求メタルトキハ之ヲ拒ムコトヲ得ス
工事カ工事方法書又ハ法令若ハ法令ニ基キ

國東鐵道株式會社

ヲ發スル命令ニ違ヒタルトキハ其ノ改築又ハ工
事ノ停止ヲ命スルコトアルヘシ

鐵道ノ設備又ハ運輸保線ノ方法カ不適當ナ
リト認ムルトキハ何時ニテモ必要ナル施設ヲ命
シ若危險ナリト認ムルトキハ運輸又ハ使用ヲ
停止スルコトアルヘシ

第十四條 政府ノ派遣シタル官吏ニ於テ鐵道ニ關ス
ル會計及財産ノ檢査ヲ求メタルトキハ之ヲ
拒ムコトヲ得ス

第十五條 陸海軍官憲ニ於テ鐵道ヲ軍用ニ供ス
ルコトヲ命シタルトキハ之ヲ拒ムコトヲ得ス
前項ノ場合ニ於テハ明治三十七年勅令第

十二號鐵道軍事供用令及同年陸軍省令第

三號鐵道軍事輸送規程ニ準スルモノトス

但シ其ノ料金ハ客車一輛ニ付其ノ定員數

ニ當該客車等級ノ運賃ヲ乘シタルモノ

二分ノ一貨車ハ貨切料金ノ二分ノ一トシ二十哩

以下(他線ト連帶輸送場合ハ全輸送哩程二十哩以下ノ

輸送ニ在リテハ二十哩分ノ料金ヲ給ス

第十六條 鐵道線路一部免許失効シ又ハ取消サ

レタル場合ニ於テ公益上必要ト認ムルトキハ他ノ

全部又ハ一部ノ免許ヲ取消スコトアルヘシ

第十七條 左ノ場合ニ於テハ免許ハ其ノ効力ヲ失フ

一 工事施行ノ認可ヲ得サルトキ

國東鐵道株式會社

二 工事施行ノ認可ニ指定シタル期限内ニ工事

ニ著手セズ又ハ之ヲ竣功セサルトキ

三 營業ノ全部ヲ廢止シタルトキ

四 營業満期ノトキ

第十八條 政府ハ公益上必要ト認ムルトキハ何時ニテモ

鐵道及附屬物件ヲ買收スルコトアルヘシ

前項ノ場合ニ於テ本鐵道ノ連絡上必要アルトキハ

延長線ノ一部又ハ全部ヲ併セテ買收スルコト

アルヘシ

買收價格ハ最近六營業年度間ニ於ケル建

設費ニ對スル益金ノ平均割合ヲ買收ノ日ニ

於ケル建設費ニ乘シタル額ヲ二十五倍シタ

ル金額トス

前項ノ益金トハ營業收入ヨリ營業費(借入金ノ利子ヲ除ク)賞與金ヲ控除シタルモノヲ謂ヒ益金ノ平均割合トハ六營業年度間ニ於ケル毎年度末ノ開業線建設費合計ヲ以テ同期間ニ於ケル益金ノ合計ヲ除シタルモノノ二倍ヲ謂フ

買収ノ日ニ於テ運輸開始後未タ六營業年度ヲ經過セサル場合又ハ第三項ノ金額ヲ建設費ニ達セサル場合ニ於テハ政府ハ其ノ建設費以内ニ於テ協定シタル金額ヲ以テ第三項ノ金額ニ代フ

國東鐵道株式會社

鐵道及附屬物件ノ狀態不完全ナルトキハ其ノ補修ニ要スル費額ハ買収價額ヨリ之ヲ控除ス前項補修ニ要スル費額ニ付協議調ハサルトキハ政府ノ選定シタル鑑定人ノ意見ヲ徴シ政府之ヲ定ム

買収代價ハ公債證書ヲ以テ交付スルコトアルニシ此ノ場合ニ於テハ券面金額ニ依リ四分利付公債證書ヲ以テ之ヲ交付シ五十圓未滿ノ端數ハ之ヲ五十圓トス

第十九條 政府ハ公益上必要ト認ムルトキハ工事方法ノ變更ヲ命シ又ハ本命令書ヲ變更スルコトアルヘシ

第二十條 將來定ノラルル法令ノ結果トシテ本
命令書ノ條項ニ變更ヲ來スコトアルモ之
ヲ拒ムコトヲ得ス

右御請仕候也

大正五年十二月二十五日

國東鐵道株式會社

社長後藤田千一

内閣總理大臣伯爵寺內正毅殿

國東鐵道株式會社

監 第五〇六號 大正六年 三月八日受領
第四三三號 大正六年 三月十七日立案
淨書 校合

庶務課長
監理課長

監督局長

副總裁
總裁

內閣總理大臣
內閣書記官長

國東鐵道工事施行件

番號

回議用紙

鐵道院

大分縣

大正五年十月二十九日附申請
本工事施行件認可
著手大正九年九月二十二日迄二
竣功スハレ

內閣總理大臣

案二

當部
年 月 日
局長

裏面白紙

鐵道院

社長

通牒

本年三月十三日監第百六號ヲ以テ工事
施行認可相成候處工事著手後竣功
迄本年六月及十二月末日現在ヲ以テ別紙
用紙ヲ用キ工程表ヲ調製シ翌月十五日
迄ニ提出有之度
追テ古市停車場ノ名稱ハ他ニ同一ノモノアルニ付
相當変更ノ上提出有之度

備考

車輛、橋梁及杆築停車場ノ詳細設計
ハ追テ認可申請ヲ為スモノナリ

急

寸
三
大

四

課長

一 國東鐵道

= 工事施行之件

本件不備、廣土岐宗直氏出頭整理了、支障ナト認ム
備考、橋梁及溝橋柱架連絡傳車場、大体設計ニ
シテ更ニ認可ヲ申請スル等、
転轍器及轍叉ニ就テハ車輛設計確定、上再調ヲ要ス。

國東鐵道

一 工事施行案件

本件審査乞ふ文障ナシト認む

併考車輛ハ大体ノ設計ナルヲ該設計確定ノ上ハ更ニ認可

申請ヲ行ハス

五五
八七

二

課長

五
七
九

國東鐵道

國東鐵道 一 工事施行件

本件ニ関シ左記照會ヲ要ス

一 線路終末哩程ハ併車場圖ニ平面及縦断面圖記載ト致ス

二 北千里平鎖附近半全平鎖曲線ノ方向ト平面ト縦断面ト致ス

三 式上工定規圖中切取斜面勾配ノ工事方法書記載ト致ス

四 軌條ノ内地製品ヲ使用スルハ其ノ工事力及重量ニ記載ス

五 高鉄目板孔ノ位置ハボルトノ頭部ニ對シテ六分一吋以上離隔スルヲ要ス

一 親部ノ東出ニナル橋梁計

四 跨線陸橋ノ橋台材料及桁材頭寸法ヲ示スト尚全圖

中施工基面ヨリ軌條面迄ノ高ハ土工定規ト一致セズ

五 暗渠換範圖中拱ノ厚サヲ示スト而シテ全間十呎ト

現場ニ無キリテテ削除スル

六 桁梁取圍ノ板ハ軌道中心ヨリ兼洋場面及待合庫極迄ノ巨

離ヲ建築ニ抵觸ス尚圖中軌道中心哩及其位置記入スト

七 旭日傳馬場ニ側線ヲ設ケルハ旭日傳馬場ノ側線ノ延長ニ依リテ

旭日傳馬場ノ側線ノ延長ニ依リテ旭日傳馬場ノ側線ノ延長ニ依リテ

材料 又、車體構造面より、
中心より、車體構造面より、
車體構造面より、
車體構造面より、

車體構造面より、
車體構造面より、
車體構造面より、
車體構造面より、

車體構造面より、
車體構造面より、
車體構造面より、
車體構造面より、

車體構造面より、
車體構造面より、
車體構造面より、
車體構造面より、

竹園一及ス、トハ、軌條部力、建築定規、之概、被ス

十五、宇江停車場平面圖、本線、里程、記、曲、線、起、終、
点、は、車、場、中、心、に、對、し、記、し、て、置、く、

✓ 十六、線路断面圖、橋梁、溝、橋、柱、ノ、種、類、ヲ、記、ス、
中、二、三、等、ノ、橋、梁、ハ、半、徑、ヲ、示、シ、曲、線、方、向、ハ、線、路、平
面、圖、一、部、ヲ、以、テ、記、ス、
附、屬、築、造、規、定、ハ、通、用、セ、ル、ア、ル、ト、キ、ハ、其、ノ、指
導、圖、ヲ、採、用、ス、ル、

✓

十七. 輕便鐵道施行規則 第十一條第二項之條

鐵道院線路トノ關係ヲ示ス

十八. 鐵道院線路トノ關係ヲ示ス

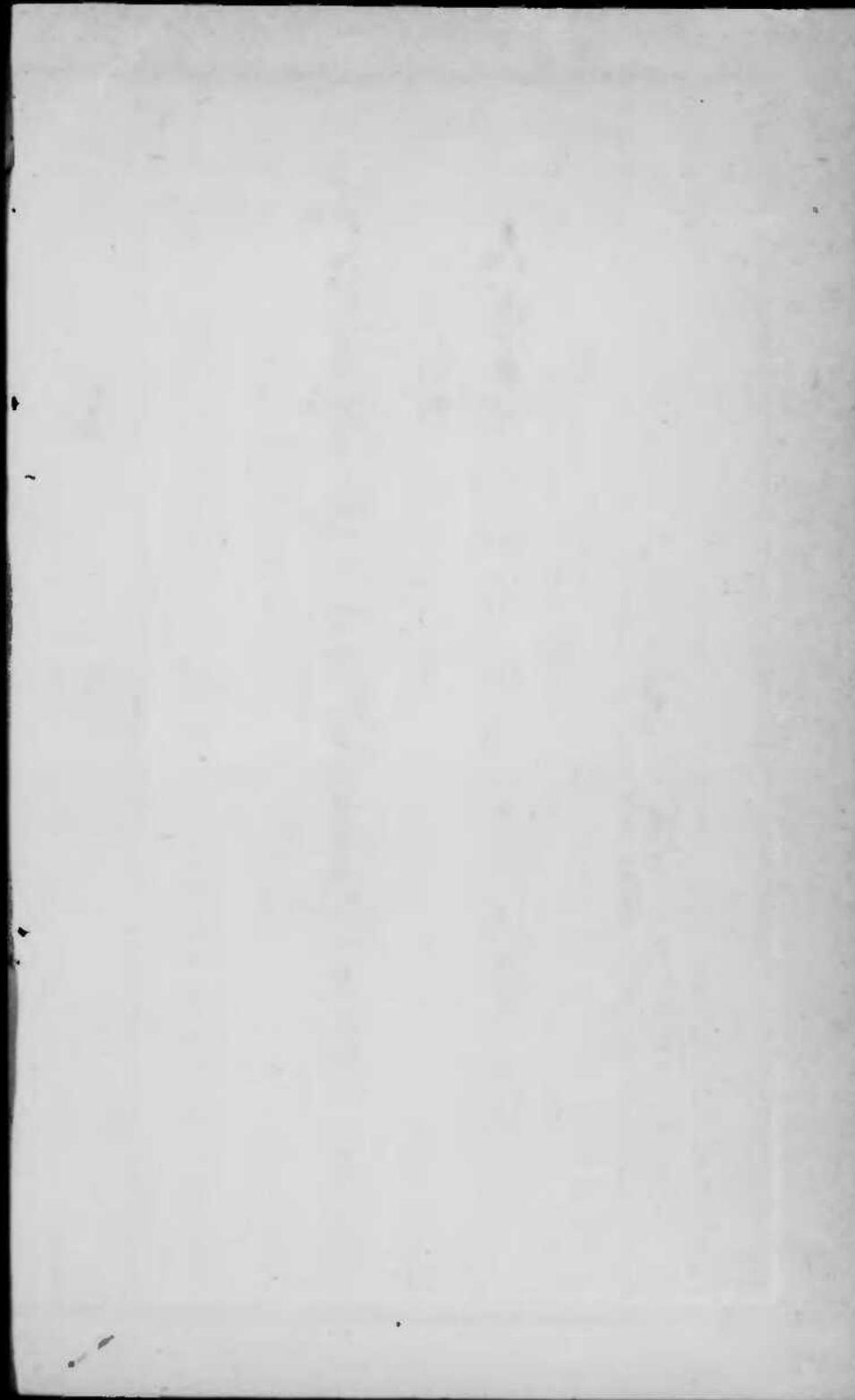
鐵道院線路トノ關係ヲ示ス

十九. 鐵道院線路トノ關係ヲ示ス

第二十. 鐵道院線路トノ關係ヲ示ス

第二十一. 鐵道院線路トノ關係ヲ示ス

鐵道院線路トノ關係ヲ示ス



5/1030
勤 2497

4365 第 1181

4283
1. 8.



大正四年十月廿六日 大正鐵道株式會社



480 61

玉東鐵道株式會社工事施行認可申請書

大正四年十月二十九日付、以テ玉東鐵道敷設許可
ノ義、且該路候補地ニ未ダ允許ノ上ハ、該設計及
圖面、通リ工事施行後、右各條未認可ノ本城度爲
面書款相添テ、事施行認可申請候也
大正四年十月二十九日

玉東鐵道株式會社

取締役社長後藤四十一



内務省鐵道大臣伯爵寺内正毅殿

國東鐵道株式會社

工事施行認可申請書

(此二葉八餘分毛)

國東鐵道株式會社

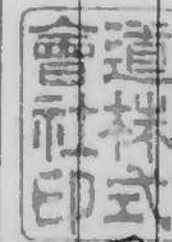


大正五年六月廿二日
發

國東鐵道株式會社工事施行認可申請書

大正二年拾月四日自監第一九六四號ヲ以テ御免許相
成候輕便鐵道、儀今般別紙、通圖面書類相添
工事施行認可申請仕候也

大正五年六月廿二日



國東鐵道株式會社

取締役社長 後藤田千一

內閣總理大臣

伯爵 大隈重信殿

國東鐵道株式會社

目 録

一、線路平面圖	第 壹 號
一、線路縱斷面圖	第 貳 號
一、建築及車輛是規	第 參 號
一、土工是規	第 四 號
一、機關車客車貨車略圖	第 五 號
一、軌條及附屬品圖	第 六 號
一、枕木配置圖	第 七 號
一、ポイント及クロツク圖	第 八 號
一、六番轉轍器圖	第 九 號
一、五番轉轍器圖	第 拾 號
一、五番轍叉圖	第 拾 壹 號
一、陸橋設計圖	第 拾 貳 號
一、暗渠模範圖	第 拾 三 號
一、杆築停車場圖	第 拾 四 號
一、杆築所及杆築域内停車場圖	第 拾 五 號
一、守江及奈多八幡停車場圖	第 拾 六 號
一、古市停車場及旭日停留場圖	第 拾 七 號
一、安岐及國東停車場圖	第 拾 八 號
一、富来停車場圖	第 拾 九 號
一、工事方法書	第 貳 拾 號
一、豫弄書	第 貳 拾 壹 號
一、定款及豫弄書	第 貳 拾 貳 號

國東鐵道株式會社

一行加入

折應力計算書

各 壹 通

工事施行認可申請書附屬工事方法書

國東鐵道株式會社

國東鐵道株式會社線路關スル工事方法書

一 線路ハ單線トス

二 軌間ハ二呎六吋トシ兩軌道ノ間隔ハ十呎以上トス

三 建築定規ハ最大幅九呎、高軌條面上十二呎トス車輛定規ハ最大幅六呎、高十一呎ニシテ其相互ノ關係及詳細寸法ハ別紙圖面ノ如シ但燃料搭載所、給水所、轉車台、計重台、洗車所、貨車積載定規支柱、電柱及信號柱ニシテ停車場内ノ側線ニ係ルモノ並ニ機關庫、客車庫ノ門路ニリテハ車輛定規ノ最大限外六吋迄建築定規内ニ入ルコトヲ得

四 曲線ハ半徑五鎖ヲ以テ最小トス

五 勾配ハ五十五分ノ一ヲ以テ最急トス

六 土工ノ施工基面ニ於ケル幅ハ築堤ニアリテハ九呎乃至十二呎切取ニテハ側溝共十三呎乃至十五呎トシ斜面ノ勾配ハ築堤ニ於テ一割五分切取ニ於テ三分乃至一割トス用地ノ幅ハ各法先キヨリ切取ニアリテハ一呎六吋トシ

築堤ニアリテハ濕地ハ五呎六吋、乾地ハ一呎六吋ナリ別紙圖面ノ如シ

七 井ノ川、井ノ木ノ所ノ橋梁、橋臺ハ表面粗石積トシ内部ニ混凝土ヲ填充シ橋脚ハ粗石及煉瓦積、又ハ鐵筋混凝土エトナス基礎ハ概シテ

混凝土トナストモ地質ノ狀況ニ依リテ杭打混凝土又ハ捨胴木混凝土トナス橋桁ハ徑間十二呎以下ハ松桁、十三呎以上二十呎迄ハ鋼工桁、以上ハ鋼版桁ヲ架ス橋臺、橋脚、設計ハ目下諸物價騰貴ノ爲ニ比較研究中ニツキ追テ設計ヲ確定シ更ニ認可申請ヲナスモノトス

跨線人道橋ノ構造ハ別紙圖面ノ如クシ松桁應力計算ハ別紙ノ通り

八 軌條ハ内國製ニシテ鋼製長三十呎重量一噸ニ付三十對ノモノヲ用ヒ附屬品等之ニ準ス枕木ハ長五呎幅五吋、厚四吋ニシテ中心距離二呎一吋以内ニ敷列シ道床ニ枕木以下四吋以上砂利ヲ敷込ム轉轍器ハ重錘取柄式ニシテ尖端軌條ノ開キヲ三吋二分ノ一トシ轍又ハ六番及五番ヲ用フ其護輪軌條ノ間隔ハ二吋二分ノ一ナリ別紙圖面ノ如シ

九字係中
三字加入

六字係中
十四字加入

一字加入

三字加入

二字訂正

二字除

一字訂正

二字除

一行ヲ刪除

八字除

四半除

九 杵築停車場ハ起點駅ナルノミナラス院線杵築停車場ト連絡設

備ヲナス必要上別紙圖面ノ如ク大体側線ノ配置、貨客乗降場、機關

庫、載炭所、給水所、水槽、待合所、貨物上屋等ノ位置ヲ配列スルモ詳

細ノ設計并ニ同停車場御用地トノ關係及御用地使用願トノ儀ハ鐵道院

九州管理局長ノ御承認ヲ添ヘ追テ認可申請ヲナスモノトス

杵築町、杵築城内、宇江、奈多八幡、古市、安岐、國東、ノ各停車場ニハ側

線ヲ敷設シ貨客乗降場、本家、使所ヲ設備ヲナス

旭日停車場ニハ單ニ乗降場及使所ヲ設ク

富來停車場ニハ終端駅ナルヲ以テ側線ヲ配設シ貨客乗降場、機關

庫、轉車台、載炭所、水槽、給水所、客車庫、使所ノ設備ヲナス別紙圖面

ノ如シ

十 待避線(側線)ノ有効延長ハ百三十七呎計ナリ

十 乘降場ノ高ハ軌條面上一呎ニシテ軌道中心ヨリ三呎三吋半ノ幅ヲ計ナリ

此ノ外貨物積卸場ハ其高ヲ軌條面以上二呎トシ軌道中心ヨリノ

距離ハ乘降場ト同一ナリ

十一 車輛

機關車及各車輛等ハ目下考案中ニ屬スルヲ以テ追テ設計確定

ノ上ハ更ニ詳細ナル設計圖并ニ圖面ヲ具シ認可申請ヲナスモノトシ大

体ヲ左記ノ通りトス

機關車

一輛數

三輛

二九噸機關車

三四輪聯結水槽付機關車

四重要寸法

汽笛ノ直徑

七吋二分二

一行加入

唧子衝程	十二吋
固定輪軸巨	四呎
機關車全長	拾五呎十吋
最大高(煙突頂上迄)	九呎
火室傳熱面積	一八平方呎
火管傳熱面積	一五三平方呎
總傳熱面積	一七一平方呎
煙箱面積	四五平方呎
運轉整備ノ時總重量	九噸
水櫃ノ容量	二六二方一立方呎
燃料櫃ノ容量	一〇七立方呎
實用最高汽壓	每平方吋一二〇封度
客車	
一輛數	十輛
二形式稱號	ボギー貫通式
三形式	四輪ボギー八輪客車
四重要寸法	
全長(バフアーノ端ヨリ一端迄)	二十四呎
自重	約三噸
乘客定員	三十五人乗
有蓋貨車	
一輛數	五輛
二形式稱號	五噸積四輪有蓋貨車
三重要寸法	
全長(バフアーノ端ヨリ一端迄)	拾六呎
自重	約二噸
積載重量	五噸

一訂正

積載容積

四百立方呎

無蓋貨車

一輛數

十輛

二形式稱蹄

五噸積四輪無蓋貨車

三重要寸法

全長(バフアールを端ヨリ一端迄)

十六呎

自重

約一噸七分

積載重量

五噸

積載容量

四百立方呎

調查鐵道實測線

八坂需末岡工費豫算表

延尺貳拾貳哩參拾貳錢貳拾八

項目	日	数量	平均單價	金額	計
測量及工事監督費用 用地費	線路用地	延 35	420,000	14,700,000	15,000,000
	停車場用地	延 5	450,000	2,250,000	19,450,000
土工費	地上物除却費			2,500,000	210,528,750
	切取	如坪 5,522,400	2500	13,806,000	
	築堤	如坪 425,350,000	1250	69,668,750	
	土留石垣	延 420,000	10,000	4,200,000	
橋梁費	護岸石垣	延 380,000	20,000	7,600,000	105,917,500
	新式川橋梁	延 1,165,750	90,000	104,917,500	
	外拍加木所	延 20	50,000	1,000,000	29,300,000
溝渠費	踏線之溝渠	延 16	600,000	9,600,000	
	開渠	延 16	600,000	9,600,000	
	共計	延 16	600,000	9,600,000	19,100,000
枕掃費	枕	延 8	300,000	2,400,000	
	掃	延 392	30,000	11,760,000	28,190,000
軌道費	軌架石川橋梁	延 25	9,000,000	225,000,000	
	枕	延 66,000	0,350	23,100,000	
	石	延 3,910	6,000	23,460,000	
	敷設費	延 35	100,000	5,000,000	
	轉轍器及聯式	延 43	180,000	7,740,000	14,500,000
停車場費	枕架停車場	延 1	1,500,000	1,500,000	
	留來停車場	延 1	2,500,000	2,500,000	
	共計	延 7	1,000,000	7,000,000	

裏面白紙

項	目	数	量	平均單價	金額	計	備考
船舶費	船口岸田場	1		500 000	500 000		
	機用車	3		9,500 000	28,500 000	61,500 000	
	電 車	10		2,000 000	20,000 000		
	有蓋貨車	5		1,000 000	5,000 000		
	無蓋貨車	10		800 000	8,000 000		
機械費						5,000 000	
建築物費						9,000 000	
運送費						8,000 000	
建築用油車費						6,000 000	
建築用炭費						5,000 000	
船舶用燃料費						1,000 000	
電 話 費						15,000 000	
總 算 費						16,303 750	
合 計						80,000 000	
					35,584 656		
					25,611 750		

裏面白紙

株式會社登記簿

[illegible]

備 豫

丁

取錄後漢書義顯卷之十

取佛彼佐小氏

變

更

變

更

吉澤新川田部尾子町収別所村
七五七番地
大分縣中津市浦村五五番地

合部連見部村東町五五番地

高橋三吉

合部連見部村東町五五番地

德島縣佐賀市電燈町五五番地
尾子町五五番地

高木次郎

德島縣麻植部川崎町東村百
八番地

監査役佐下

德島縣板野部無名町林崎百
五番地

杉本吉平吉

大分縣中津市日野記

株式會社登記謄本

一井源吉

合部連見部八坂町五五番地

合部連見部村東町五五番地

合部連見部村東町五五番地

合部連見部村東町五五番地

合部連見部村東町五五番地

大分縣中津市日野記

變

更

變

更

大分縣中津市浦村五五番地
大分縣中津市浦村五五番地

本号登記事項中

大分縣中津市浦村五五番地
大分縣中津市浦村五五番地

大分縣中津市浦村五五番地
大分縣中津市浦村五五番地

大分縣中津市浦村五五番地
大分縣中津市浦村五五番地

大分縣中津市浦村五五番地
大分縣中津市浦村五五番地

大分縣中津市浦村五五番地
大分縣中津市浦村五五番地

大分縣中津市浦村五五番地
大分縣中津市浦村五五番地

裏面白紙

此謄本ハ登記簿ニ依リ之ヲ作り茲ニ登記簿ト相違ナキコトヲ認證ス

大正
年
月
日
區裁判所
裁決書記
力
成
業
所

定

款

國東鐵道株式會社

國東鐵道株式會社定款

第一章 總則

第一條 本會社ハ國東鐵道株式會社ト稱ス

第二條 本會社ハ本社ヲ大分縣東國東郡國東町ニ設置ス

便宜ノ地區ニ支社又ハ出張所ヲ設置スルコトヲ得

第三條 本會社ハ左記ノ業務ヲ營ムヲ以テ目的トス

大分縣東國東郡富來町ヨリ同縣速見郡八坂村ニ至ル輕便鐵道ヲ布設シ
陸上運送ノ業務ヲ營ミ尙大分縣富來町ヨリ山口縣德山港ニ至ル海上運輸
ノ業務ヲ營ムモノトス

第四條 本會社ノ資本金額ハ八拾萬圓トス

第五條 本會社ノ公告ハ本店ノ所轄裁判所ノ公告新聞紙ノ中一個ノ紙上ニ掲載
ス

第二章 株式

第六條 株式ハ壹個ノ金額ヲ金五拾圓トス

第七條 株券ハ記名トシ一株五株拾株ノ三種トス

第八條 株式ノ拂込ハ第一回ヲ金五圓トス第二回以降ハ取締役ノ決定スル所ニ依ル

第九條 株式ノ拂込ヲ怠リタルモノハ日ヨリ利率壹百圓ニ付キ一日金四錢ノ遅延利息ヲ附シ且遅延ノ爲ニ生シタル費用ヲ辨償スヘキモノトス

第十條 株券ノ併合分割再度ノ交附移轉ノ登録及株券所掲事項ノ變更規定ハ取締役ノ定ムル所ニ從フ

第十一條 株券ノ書換ハ定時總會開會以前一定ノ期間之ヲ停止スルコトヲ得

第三章 株主總會

第十二條 定時總會ハ毎年一月及七月ニ之ヲ開ク

第十三條 株主ハ本社ノ株主ヲ以テ代理人トシ總會ニ出席セシムルコトヲ得

第十四條 議決權ハ株式壹株ヲ壹個トス

第十五條 總會ノ議決事項ハ議事録ニ其ノ要旨ヲ摘録シ出席セル取締役壹名株主貳名以上記名捺印シテ之ヲ保存スヘキモノトス

第四章 取締役監査役及相談役

第十六條 取締役ハ九名以内監査役ハ五名以内ヲ置ク取締役ハ互選ヲ以テ社長^{社長}及専務一名常務二名以内ヲ選任ス

取締役會ノ決議ニヨリ相談役若干名ヲ置クコトヲ得

本會社ヲ代表スヘキモノハ社長^{社長}又ハ専務取締役トス

本會社ノ業務執行ハ社長又ハ専務取締役之ニ任シ差支アルトキハ他ノ取締役之ニ代ハル

第十七條 取締役ノ所有スヘキ株式員數ハ壹百株以上トシ監査役ハ五拾株以上トス

第十八條 取締役ノ任期ハ三年トシ監査役ハ二年トス但商法第百六十六條及第百八十九條任期伸長ノ規定ニ從フ

缺員ヲ生シタルトキハ補缺選舉ヲ行フ留任ノ人數ハ法定ノ員數ニ足ルトキハ選舉ヲナサ、ルコトヲ得

補缺ノ任期ハ前任者ノ殘任期間トス

第十九條 取締役力監査役ニ供托スヘキ株式員數ハ壹百株トス

第五章 計算

第二十條 毎年六月及十二月ノ末日ヲ以テ決算ヲナスヘキモノトス

第二十一條 損益計算ノ結果純益ノ處分ハ左ノ各項ニ依ル

一、法定積立金

二、交際及慰勞金

三、配當

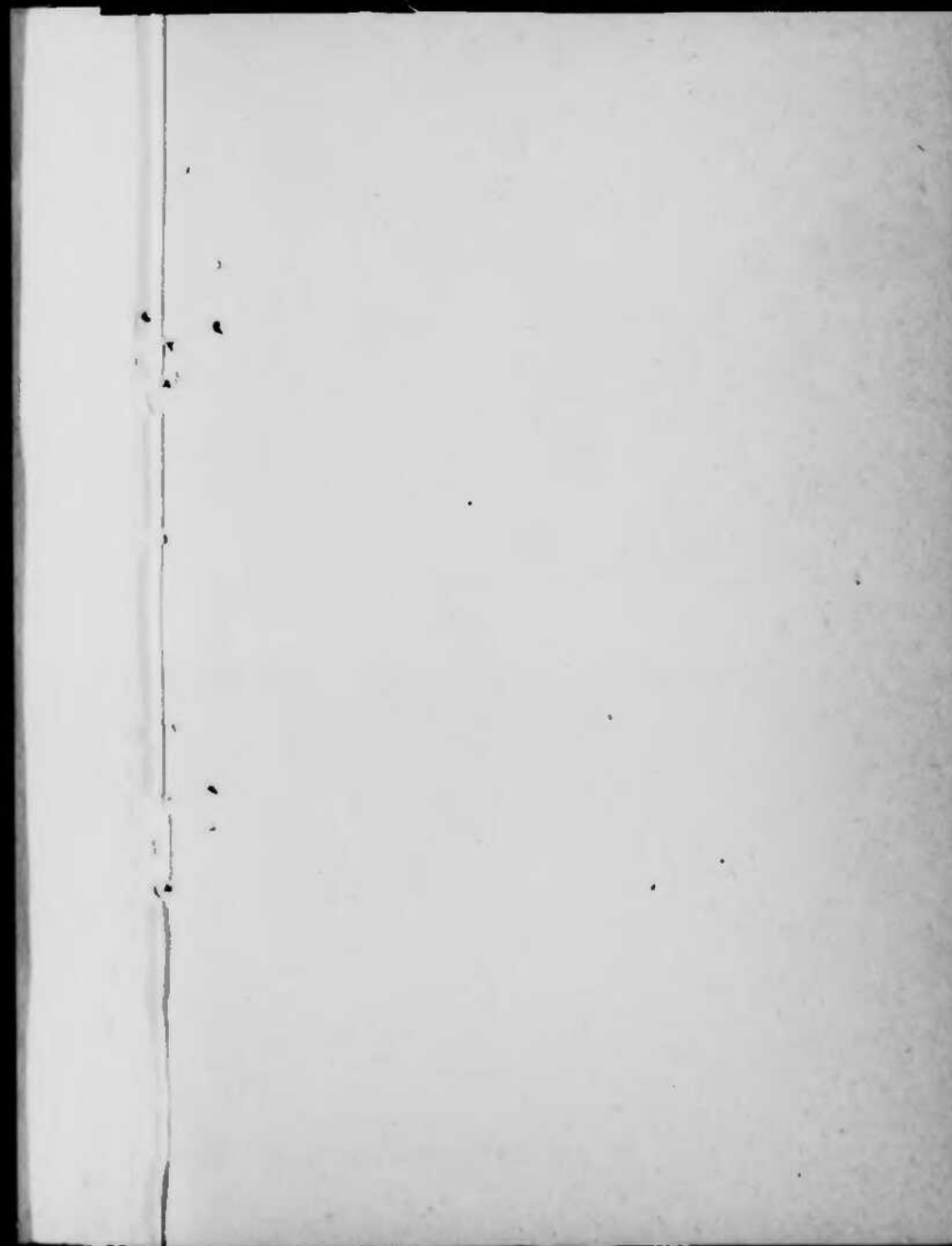
一、計算殘餘ハ特別積立ヲナシ或ハ後期繰越トナスヘキモノトス

第二十二條 配當ハ決算末日現在ノ株主ニ分ツモノトス

第六章 附則

第二十三條 設立費用ハ金壹萬五千圓以下トス

第二十四條 設立發起ノ人名住所左ノ如シ





委任状

拙者都合に依り土岐宗直より都理代人相
定メ左ノ権限ヲ委任ス
一國東鐵道株式會社之事施行認可ノ事
古澤有為當款中訂正ノ案及一切ノ件
右代理ヲ委任ス

大正六年一月一日

土東鐵道株式會社

社長 佐藤 田子一

國東鐵道株式會社

陸軍省
K 223

1171

九三五

國東鐵道工事施行ノ件回答

大正三年三月三十日陸軍次官山田隆

鐵道院副總裁古川政次郎殿

本件ニ関シ三月二十日附監第五〇七號ヲ以テ

通牒ノ趣異存無之候也

陸

軍

[illegible]

三十三

第五〇七號大正七年

三月十九日受領
三月二十三日達濟

淨書 校合

第四三三號大正七

年
三
月
月
十七

日受飮
日立案

庶務課長

監理課長

監督局長

副總裁

陸軍省二通牒案

番號

年
月
日

副總裁

陸軍次官宛

別紙ノ通ニ有之候條豫メ及通牒候
 工事施行ノ概要

(別紙)

めくれず

通士第九ノ
八國東
正六年四月

以後第二二一號二

大正六年四月一日

國東鐵道株式會社

社長後藤田千一

内閣總理大臣伯爵寺内正毅殿

工事着手御届

大正六年三月二十三日付監第九。六號ヲ以テ工事
施行承認可キ域修弊社鐵道ニ同年四月一日ヲ以テ
工事着手仕候間此段御届申上候也

大分縣大正六年四月十三日
經由勸業第三八一九號

國東鐵道株式會社

監 署 精
8. 4. 17

38斤 1385

國東鐵道株式會社

供四



監 4360

3752 9

後才三八一號

變更登記濟水局

九記事項、自變更登記後、間輕便、鐵道法施行規則第二十五條、依、及市、町、村、也

大正六年十一月五日

國東鐵道株式會社

取締役社長 後藤田千一

内閣總理大臣 伯爵寺內正毅 殿

記

一 登記、目的及事由

國東鐵道株式會社

國東鐵道株式會社、前經改定、安永、周、吉、大正六年一月

二十日、辭任、付、今、年、一、月、二、十、五、日、株、消、於、記、濟

、付、今、年、四、月、四、日、株、消、登、記、濟

、付、今、年、四、月、四、日、株、消、登、記、濟

、付、今、年、四、月、四、日、株、消、登、記、濟

、付、今、年、四、月、四、日、株、消、登、記、濟

、付、今、年、四、月、四、日、株、消、登、記、濟

、付、今、年、四、月、四、日、株、消、登、記、濟

、付、今、年、四、月、四、日、株、消、登、記、濟

、付、今、年、四、月、四、日、株、消、登、記、濟

、付、今、年、四、月、四、日、株、消、登、記、濟

、付、今、年、四、月、四、日、株、消、登、記、濟

、付、今、年、四、月、四、日、株、消、登、記、濟

、付、今、年、四、月、四、日、株、消、登、記、濟

、付、今、年、四、月、四、日、株、消、登、記、濟

助大と縣東玉東神旭日村大字給升計九番地菅
釜米と郎大と縣東玉東神旭日村大字赤松四百
振番地西岡宗作、此番役大と縣東玉東神旭
日村大字東里米一百番地一升深吉大と縣東玉東神
旭日村計九番地八振三治大と縣東玉東神旭
日村大字神梁五番番地中村忠吉大と縣東
玉東神旭日村大字重藤五番番地高橋千
十郎大と縣東玉東神旭日村大字鶴川七百六振番
地寺川長一郎大と縣東玉東神旭日村大字野田
千九百六振番地松成吾吉常選、自今斗五月二十
日之り終務終記済

國東鐵道株式會社

公社取締役味松利助大と斗八月十日辭任、付令

年八月振番、株消終記済

公社取締役菅釜米と郎大と斗十月十日辭任、付

令斗十月十日株消終記済

令社大と斗九月五日取締役會、決議、依り大と
耕作、支配人、選任、唐社、代表、とし、おメ大と斗
九月二十七日之り終務終記済

以テ

目録

テク 發第 老 参 號

臨時期限在九年九月至六

32 26

大正七年十月廿五日

總務課長

國東鐵道株式會社

社長 後藤田十一

鐵道院

監督局長 中西清一 殿

辭社大正六年下半期工程表別紙、
通提呈致候也

249
1 28

國東鐵道株式會社

東 輕便鐵道

工程表

延長 22 哩 38 鎖

大正 四年 月 日

	總	量	前期末成工歩合	現在成工歩合	備	考
測	哩	鎖				
用	3.2	38	51.7	100.0		
地	反					
土	3.1		60.4	100.0		
工	立坪					
橋	11.050		10.0	41.0		
梁	延長呎					
隧	1.030			13.0		
道	延長呎					
軌	哩	鎖				
道	2.4	40	0	0		
電	哩	鎖				
線	2.0	10	0	0		
路						
停	箇所					
車	1.0		0	2.0		
場						
發	箇所					
電						
所						
變	箇所					
電						
所						

- 備考 1. 總量欄ニハ記載ノ單位稱呼ニ依リ實數量ヲ記載スルコト
 2. 前期末及現在成工歩合ノ欄ニハ軌レハ總量圖ノ數量ニ對シ六月又ハ十二月末日現在ノ成工數量ノ割合ノ百分率ニテ記載スルコト
 3. 備考ノ欄ニハ前提出ノ工程表記載ノ數量異動シタルトキ又ハ工程進捗ニサルトキ其ノ理由其ノ他備考ナルヘキ事項ヲ精記スルコト
 4. 工事一部竣功開業シタル後ニ於テハ殘部未開業區間ニ對シタルモノヲ記載スルコト

裏面白紙

發芽二一

變更登記濟市局

左記事項、自變更登記後、留輕便道法施行規則第二十五條、依り及、由候也

大正七年二月十三日

玉東鐵道株式會社

取締役社長後藤田千一

内閣總理大臣伯爵寺內正毅殿

記

一、登記、目的事由

玉東鐵道株式會社、前、歸、負、付、大正七年一月

國東鐵道株式會社

二十、百、多、時、株、主、總、厚、於、選、舉、行、た、る、に、左、記

、七、當、選、就、任、自、之、り、終、結、後、記、濟

大坂市、區、西、野、田、江、成、市、者、白、美、松、五、番、地

藤村忠己

大分縣、市、佐、野、柳、浦、村、百、九、番、四、番、地

重松重治

以二



562
7. 2. 16

目録

事務課長

七七

七七廿

吊

張

1 國東鐵道

一 工程表提出件

右支障ナレト認ム(工程報告台帳記入済)

八

總

七七五

即

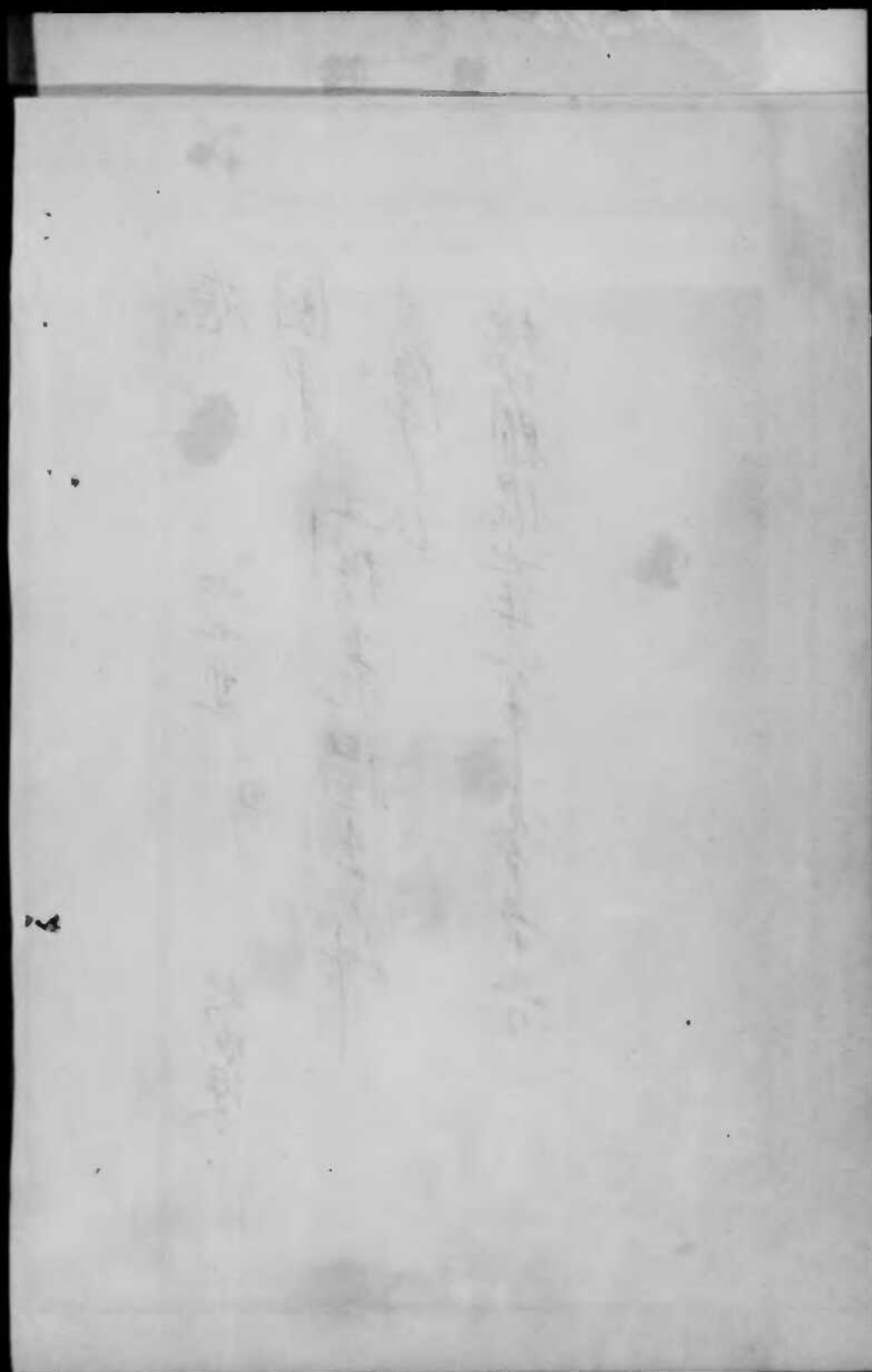
技師

國庫

工程表提出件

左隣士

竣工期限大正九年九月五日



五井村八七號

大正七年七月十七日

國東鐵道株式會社

社長 後藤田千一

鐵道院監督局長 中西清一 殿

弊社大正七年上半年工程表別紙一通、提出
致也

監督局
29/6
7. 7. 20

國東鐵道株式會社

国東輕便鐵道

1. 既開業間工程表

延長 卅二 哩 卅 鎖

大正 八 年 六 月 卅 日

	總 量	前期末成工歩合	現在成工歩合	備 考
測 量	哩 鎖 22. 38	100	100	
用 地	反 396	100	100	
土 工	立坪 118050	41	56	
橋 梁	延長 哩 15.25	10	14	延長 15.25 哩 15.25 哩 23.5 哩 合
隧 道	延長 哩 0	0	0	
軌 道	哩 鎖 24. 40	0	0	
電 線 路	哩 鎖 22. 15	0	0	
停 車 場	箇所 11	27	27	延長 11.5 哩 21 哩 停 車 場 大 小 停 車 場 合
發 電 所	箇所 0	0	0	
變 電 所	箇所 0	0	0	

- 備考 1. 總量欄ニハ記載ノ單位同サニ依リ實數量ヲ記載スルコト
 2. 前期末及現在成工歩合ノ欄ニハ既レモ總量ノ數量ニ對シテ六月又ハ十二月末日現在ノ成工數量ノ割合ヲ百分率ニテ記載スルコト
 3. 備考ノ欄ニハ前提出ノ工程表記載ノ數量異動ノ理由又ハ工程進捗セザルキハ其ノ理由其ノ他參考トナシテ事項ヲ續記スルコト
 4. 工本一覽表功障覽ニモ同様ニ於テハ殘部未開業區間ニ對シテモノミテ記載スルコト

裏面白紙

七七

五三

第八八號一大正七年

五月十八日受領

淨書

校合

第四二六號四大正七年

五月十一日受領

總務課長

技術課長

監督局長

副總裁

總裁

內閣總理大臣

內閣書記官長

國東鐵道線路及工事方法変更

案

番號

回議用紙

鐵道院

大分縣

國東鐵道株式會社

大正六年十一月二十七日附申
線路及工事方法変更件認可

年

月

日

內閣總理大臣

梓築不値草場、浅野專月軌道
交又及車軌ノ設計、付テ更
ニ認可申請ヲ爲スモノナリ

裏面白紙

756

3

漫

1 國東鐵道

二 線路及工事方法変更ノ件

右再調スルニ代理人土岐宗直出頭し不備ノ處整理
了レテ之ノ際ノ旨ト認ム

備考 杆架停車場及渡路ヲ用軌及平面多ク又設計
大抵設計ナリ



委任狀

拙者都合に依り土岐宗重より代人ト云々ノ宛
 ノ権限ヲ代理セシム
 大正三年五月廿拾日午後第三九八号ノ親
 間及強信ノ都合番更リ清、村、品、品、品、品
 訂正ノ案一切ノ件

右代理 李廣文

大正十一年四月二十日

玉泉道林寺

可締役社長後藤田千一

總

國東

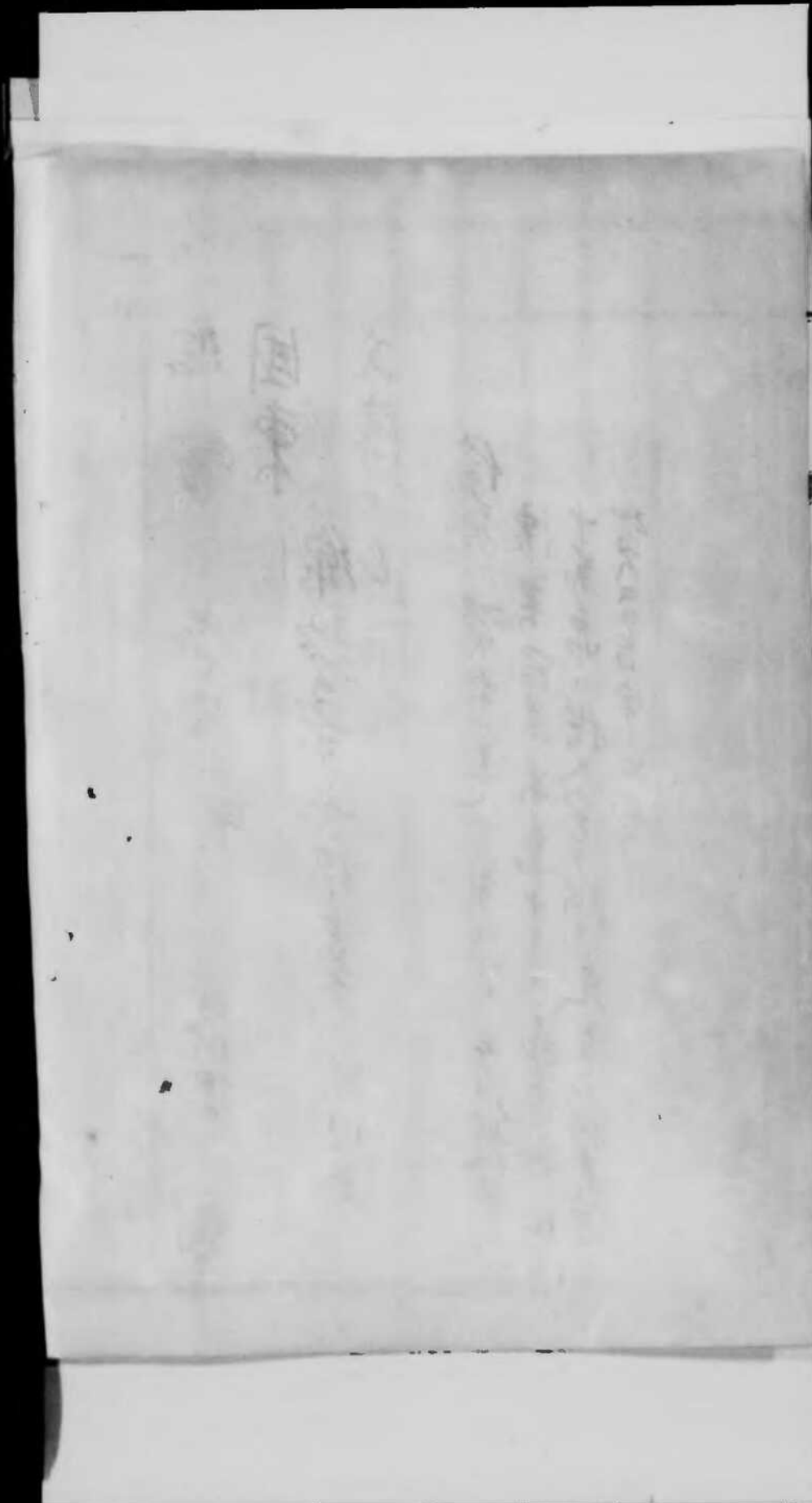
支障なし

七三三

即

技術課

備考 資本金八十萬圓、之ヲ建設費、
豫算百二十萬圓、ナリ其超過額四
十萬圓ハ借入金ヲ以テ充當シ將來増
資スル旨申出ナリ



發第三九八號

國東鐵道株式會社

大正六年十一月二十七日

社長 後藤田干一

内閣總理大臣伯爵寺內正毅殿

軌間及線路、部分變更申請書

大正六年三月二十三日監第五。大抵、以テ工事施行中認可相受
居、當會社鐵道工事今因尤記理由、依リ軌間二呎六吋、三呎六吋
ニ變更仕、付何事亦認可被成下度株主総會決議録抄本其
他必要圖書相添此段申請仕候也

理由

本會社線路、其延長二十二哩餘、及ヒ猶將來延長ノ希望、有シ

國東鐵道株式會社

係テ船舶事業ヲモ兼營シ、以テ中國九州間旅客貨物ノ連絡ヲ計
ラントスルハ本會社定款ノ定ムル所、有之從テ之レノ目的ノ遂行ハ
自ラ其設備ノ完全ヲ必要ト認メ、次第且本會社鐵道起、莫貴
院豐州線、杵築驛構内ニアルヲ以テ軌間三呎六吋ハ院社線ノ連絡ニモ多
大ノ利益アルヲ信スル所以ニ有之候

輕 4216

12 12
4833

11 25
296

知 13876

大分縣 大正六年十二月七日
經由勸業第三三八七六號



大正六年五月拾日 國東鐵道株式會社臨時株主總會

決議錄抄本

議長從來、設計ハ線路軌間ハ貳呎六吋ナリモ既線トノ
連絡上參呎六吋ニ變更スル方得策ニ付キ變更致シタレ
異議ナレ

議長別ニ異議ナキヲ以テ參呎六吋ニ變更スルフトニ決議シマス
右ノ通決議錄抄本相違無之候也

大正六年 五月 二十日



國東鐵道株式會社

取締役社長 後藤田千一



國東鐵道株式會社



4216 2
7. 3. 23

大正七年一月八日

大正七年一月八日



東鐵道株式會社

社長 後藤田千



鐵道院監督局長中西清一殿

大正六年十二月二十七日付奉第三九八號ノ以テ軌道及線
 路、部令變更申請仕奉ル大正七年一月廿二
 日付監輕第四二二號ノ一ヲ以テ添付圖書中
 不備、其再調方以照會相成云々付奉、前
 已致資市場物類、依ニ財源ニ對スル株主總
 會、決議錄抄本相添提出仕云間至急
 御詳可成度此致奉願矣云々
 追々裏々提出、添付圖一切工事方法書建設
 費豫算書、今回提出、今ト以テ引替所
 下床以テ度申添至云々

國東鐵道株式會社

大正七年一月廿日株主総会決議録抄本

議長 総會目的事項第四項加工費之開スル

資金調達に付議題ト致シマス

市件前期株主総会に於て決議してシテ軌
間ニ以テ付リ三呎方時、変更ノ結果約四
拾萬圓ノ資金増額ヲ必要ト致シマス付テ
一時借入金ヲナスル或ハ増資トナカ付キ皆極
ノ意思見テ承リタイノテマシマス

議長 軌間変更に伴フ増加工事費ニ一時借入金

ヲ以テ之ニ充テ過當ノ時機に於テ増資ヲ
ナスコトシ借入金ノ時機方法ノ重役ニ任
シ増資ノ開シテハ更ニ総會ノ決議に依リコト

國東鐵道株式會社

致シタイノテアツマス

異議ナシトキ

議長 御異議ナシトセヌラ増加に對シ資金ニ一

時借入金トシ過當ノ時機に於テ増資ヲ
ナスコトシ急増資ノ場合総會に謀ル
コトニ決議シマス

右原市に依リ抄本ヲ作シ

大正七年二月十日



國東鐵道株式會社

取締役社長後藤田十一

線路及軌間變更申請書附屬工事方法書

國東鐵道株式會社

国東鐵道株式會社線路關する工事方法書

一線路の單線トス

二軌間ハ參呎六吋トシ西軌道ノ間隔ハ拾呎以上トス

三建築規定規ハ最大幅拾呎六吋高サハ軌條面拾四

呎トス車輛規定規ハ最大幅拾呎九吋高サハ拾

呎呎九吋ミシテ其相互ノ關係及所定寸法ハ附圖

第四號及第五號ニ示ス如シ

但シ燃料搭載所・給水所・計量台・洗車所・

貨車積載規定規ハ柱電柱及信號柱ミシテ

停車場内側線ハ係ハミシ並ニ橋脚・車庫・客

車庫・門路ミアリテハ車輛規定規ハ最大限外

六吋近建築規定規ハ入ルコトヲ將

國東鐵道株式會社

四曲線半径ハ鐵ヲ以テ最小トス

五勾配ハ五拾五分一ヲ以テ最急トス

六土工ノ施工基一面ニ於ケル幅ハ築き堤ミアリテハ拾

貳呎乃至拾五呎切取ミアリテハ側溝共拾六呎

乃至拾八呎トシ斜面ノ勾配ハ築き堤ニ於ケテ電

割五分切取ミ於ケテ參分乃至電割トス

用地ノ幅ハ築き堤個所ハ法統ヨリ電呎六吋乃

至參呎切取地ニ對シテハ五呎切取個所ハ法統ヨリ

參呎切取方寸乃至參呎切取トシ然レバ宜貝地ノ狀態

ニ依リハ溝又ハ小土工ヲ設テ附圖第五號

ノ如シ

七橋梁ハ高山川外前拾貳ノ所及溝橋四拾貳

ニ示ス

ニ示ス

27

本行一字訂正
加入

二字加入

二字加入

本行一字訂正

一字訂正
一字删除

九字追加

ト所ニシテ橋梁ノ総延長は十^二百^七呎^餘トス橋

台^ニ於テ粗石練積トシ高山川橋梁^ニ於テ徑間

或百九拾八呎^ニシテ將來本橋トシテハ徑間參拾

呎^ノ鋼版桁九連^ヲ以^テ川橋梁^ニ於テ徑間志

百六拾四呎^拾吋余^ニシテ將來本橋トシテ徑間

參拾呎^ノ鋼版桁五連^ヲ加^テ設スベ^ク粗石練積

橋脚^ヲ築造^シ其橋脚間^ニ本造橋脚^ヲ設^テ

徑間拾五呎^餘木桁^ヲ架^ス其他^ノ橋梁^ニ於テ橋

台^ニ於テ粗石練積トシ橋脚^ニ於テ木造^ニシテ

徑間拾五呎以上拾五呎以下^ノ木桁^ヲ加^ス溝

橋^ニ於テ橋台^ニ於テ粗石練積^ニシテ徑間拾五呎

未滿^ニ參呎以上^ノ木桁^ヲ加^スモ^トス基礎^ニ於テ

國東鐵道株式會社

混凝土トスト雖モ地質ノ状況ヨリ杭打混凝土又^ハ

捨桐胴木混凝土トス拱皮^ハ亟^ニ暗渠^ニ於テ石材^ヲ用

ユ^ベン石材^ハ花崗石^ニ屬^ス堅實^{ナル}モノ^ヲ使用^シ木材^ハ

枅^ヲ使用^ス基礎^ニ橋梁及溝橋^ニ同ジク^ハ橋梁^ニ

及溝橋^ノ構造^ハ詳細^ニ附圖第五^ニ六^ニ參^ル於

或^ハ第六^ニ參^ル第四^ニ拾六^ニ號^ノ及^ハ第五^ニ拾七^ニ號^ノ乃至^ハ第五

拾^六號^ノ通^リ木桁^ノ應^力計^算表^ハ附圖第五

七^ニ參^ル如^シ跨線人並橋及架道橋構造^ハ詳細^ニ附圖第四^ニ拾

七^ニ號^ノ乃至^ハ第五^ニ拾六^ニ號^ノ如^シ應^力計^算表^ハ太

圖^ニ添^付ス桁^ノ材質^ハ枅材トス

寬^リ植材^ハ枅^ヲ用^ヒ支柱及^ハ筋^五寸材^ハ枅^ヲ使用^ス

一字訂正

走字加ナ

走字加ナ

一字訂正

八 軌條、内國製銅平底型ニシテ長ク多ク於以、上電是

一碼ニ付四拾封度、モノヲ用ヒ附屬品等之、唯ナ

枕木、長六呎幅一吋厚五吋ニ分一ニシテ直線又ハ

曲線半径五拾五呎以上ニ長ク於以軌條、電

本ニ對シ於五丁半徑或拾鎖以下ニ於拾六丁ヲ敷

列ス道床ニ枕木下厚六吋、砂利ヲ敷シ、轉

轆器、重鐵一取柄式ニシテ尖端軌條ノ間キヲ四吋

四分一トシ轆又ハ八番及六番ヲ用エ其護輪軌

條ノ間隔、一吋四分、三ナリ附屬品等、拾四

九 杆、架停車場、起點駅ナリ、ナラズ院線杆

架停車場内、於テ線路連絡設備ヲ必要

國東鐵道株式會社

上附圖ニ示ス如ク、大休例線、配置旅

客乗降場、及檢閱車庫、載炭所、給水所、待

合所、ランプ室等、位置ヲ配列スルモ目下鐵道

院九州管運局長、出願中ニ付御承認ヲ得テ

ル上直ニ認可申請ヲナスモノトス、杆架城内、宇

江、奈多ハ情、安岐、武雄、旭日、國東、各停

車場ニ、例線ヲ敷設シ、貨客乗降場、本屋

候所、乘客待合所、貨物上屋等、設備ヲナ

附屬品等、於テ、乃至、第一、第二、九、等、如ク、

但シ、安岐停車場、列車、行五、運、駅、ナリ、以テ、載

炭所、給水所、ランプ室ヲ設ケ

高來停車場ニ、終端駅ナルヲ故、例線ヲ配置

シ旅客乗降場及貨物積卸場、検閲車庫、
載炭所給水所、客車庫之ア、
等ノ設備ヲテ、附圖第拾號ノ如シ
枅葉所、大内、ニ停留場、
及待合所、改札所、
參拾壹號ノ如シ

二五加八

三六加八

本行一字前
拾字加八

一五加八

拾、江停車場構内ニ於テ清野セラルト、
運搬用ノ軌道ト交叉スル状態ニ附圖第拾
四號、如シテ該運搬用車、
然レ一車毎、
運轉保安ノ方法、
軌道、
然レ一車毎、
運轉保安ノ方法、
軌道、

國東鐵道株式會社

ト、
認、
ト、

拾、
車、
車、

検閲車及客車、
中、
書、
体、

検閲車

一、
輛、
輛、

二、
六、
六、

三、
六、
六、

四、
六、
六、

一	軌數	貳軌
二	形式	四輪客車
三	乗客人員	參拾貳人
四	重量	貳拾參噸拾時
	最大長	同ア山ヲ含メズ
	最大巾	七呎
	最大高	拾呎九吋
	軌面より床上面迄高	參呎四吋
	屋根巾	一呎五吋
	上重量	六噸貳
	氣筒ノ直徑	拾參吋
	唧子衝程	拾八吋
	齒輪徑	參呎壹吋
	齒輪數	六
	固定輪軸距	拾呎七吋
	全輪軸距	拾呎六吋
	極限車全長緩衝器間	貳拾參呎參吋八分一
	傳動面平方呎	四八〇 水筒 四八〇 水重 四八〇 全面積 五五拾參平方呎
	爐面 (平方呎)	八平方呎
	連轉整備時極限車重量 (英噸)	貳拾貳噸六
	水槽容量 (封度)	四千五百封度
	燃料極容量 (立方呎)	四拾立方呎
實用最高速度 (每平方吋封度) 而四拾封度		
上客車 (三等用)		
國東鐵道株式會社		

客車

三等用

一 輛數

八 輛

二 形式

四輪客車

三 乗客人員

五拾人

四 主要寸法

最大長

或於參呎拾吋

最大中

七呎

最大高

拾呎參吋

軌上面至床上面迄高

參呎四吋

屋根巾

七呎五吋

重量

五噸二

有蓋貨車

(緩急格付)

國東鐵道株式會社

一 輛數

五 輛

二 形式

四輪有蓋貨車

三 積荷

積 重 參呎五吋五寸

四 主要寸法

最大長

拾七呎六吋

最大中

七呎

最大高

拾呎七吋

軌上面至床上面迄高

三呎二吋

屋根巾

七呎五吋

重量

三噸七寸

無蓋貨車

(緩急格付)

一 輛數

拾 輛

二 形式

三 積荷

四 必要寸法

最大長

最大中

最大高

軌上面より床上面迄高

上層高

四 輪軸並装貨車

積 六噸 五五五五五五五五噸

七 八噸五吋

七 噸

四 噸一吋

三 噸一吋

二 噸五

國東鐵道株式會社

三才加入

圖面目錄		名	称
第壹章	緒言	線路實際平面圖	
第二章	線路實際縱断面圖		
第三章	土工定規圖		
第四章	建築定規圖		
第五章	橋台橋脚定規圖		
第六章	木造橋脚定規圖		
第七章	木桁模範圖及應力計算表		
第八章	涵管定規圖		
第九章	下水渠模範圖		
第十章	貨模範圖		
國東鐵道株式會社			
第十一章	土管伏設定規圖		
第十二章	石垣模範圖		
第十三章	回轉封皮軌条及附屬品圖		
第十四章	枕木配置圖		
第十五章	八音轉轍器及轍叉圖		
第十六章	大音轉轍器及轍叉圖		
第十七章	ダイヤモンブロックシグナル圖		
第十八章	轉轍開閉器圖		
第十九章	信號機及リバー台圖		
第二十章	乘降場及貨物積卸場圖		
第二十一章	車輛圖		
第二十二章	行李停車場設備圖		



第貳拾四號	府縣市街村停車場設備圖
第貳拾五號	府江停車場設備圖
第貳拾六號	府縣市街村停車場設備圖
第貳拾七號	府縣市街村停車場設備圖
第貳拾八號	府縣市街村停車場設備圖
第貳拾九號	府縣市街村停車場設備圖
第貳拾〇號	府縣市街村停車場設備圖
第貳拾一號	府縣市街村停車場設備圖
第貳拾二號	府縣市街村停車場設備圖
第貳拾三號	府縣市街村停車場設備圖
第貳拾四號	府縣市街村停車場設備圖

國東鐵道株式會社

第貳拾五號	神門川橋梁設計圖
第貳拾六號	天村川橋梁設計圖
第貳拾七號	砥神川橋梁設計圖
第貳拾八號	奈多川橋梁設計圖
第貳拾九號	荒木川橋梁設計圖
第貳拾〇號	安岐川橋梁設計圖
第貳拾一號	港川橋梁設計圖
第貳拾二號	武藏川橋梁設計圖
第貳拾三號	津流川橋梁設計圖
第貳拾四號	三尾谷川橋梁設計圖
第貳拾五號	因深川橋梁設計圖
第貳拾六號	荒走北江川橋梁設計圖

六字加入

第 五 九 號	第 五 八 號	第 五 七 號	第 五 六 號	第 五 五 號	第 五 四 號	第 五 三 號	第 五 二 號	第 五 一 號	第 四 九 號	第 四 八 號	第 四 七 號
------------------	------------------	------------------	------------------	------------------	------------------	------------------	------------------	------------------	------------------	------------------	------------------

中華學校前跨線橋設計圖	柏園跨線橋設計圖	安岐跨線橋設計圖	島根跨線橋設計圖	黑津跨線橋設計圖	上木跨線橋設計圖	西屋敷跨線橋設計圖	第一伊豫跨線橋設計圖	第二伊豫跨線橋設計圖	福井跨線橋設計圖	大海田古城島久美跨線橋設計圖	徳永橋梁設計圖
-------------	----------	----------	----------	----------	----------	-----------	------------	------------	----------	----------------	---------

國東鐵道株式會社

石井渡橋梁設計圖	白水架渡橋梁設計圖
----------	-----------

国中鐵道株式會社帳

小改箇素同工費像革書

延敷別部加付工費水地高入於試部一

項目 数量 平均單價 金額 合計

測量及工事監製費

用地費

鐵路用地及	45	400.00	18,000.00	
地上	312	即測量像價375		
停車場用地	18	400.00	7,200.00	
苗路付替用地	15	300.00	4,500.00	
地上物件像價			700.00	

土工費

鐵路取直3坪	16,460	2.60	42,796.00	
鐵路築堤	14,950	1.40	20,930.00	
土沟及垣高坪	1,520	1.50	2,280.00	
川苗付替3坪	880	1.80	1,584.00	
踏切道	3,470	1.80	6,246.00	
停車場地築	3,790	1.80	6,822.00	

橋梁費

高山川外井新所運水	2,394	30.80	73,640.00	
踏線橋梁所	10	560.00	5,600.00	

溝渠費

(下水渠4所繪入)	24	591.00	14,184.00	
渠	8	11,380.00	91,040.00	
畦	22	226.00	4,972.00	

火桶並

軌	24	1,500.00	36,000.00	
枕	70,000	70	4,900.00	
石	500	700	350,000.00	
碎板及鐵又組	54	2,500.00	1,350,000.00	
敷	20	6,600.00	132,000.00	

停車場費

新築停車場	4,572.00			
新築城內停車場	2,854.00			
宇江停車場	3,154.00			
奈良人情停車場	3,174.00			
生岐停車場	5,284.00			
武野停車場	2,952.00			

項	目	教	量	平均單價	金額	合計
車輛費	加月停車場				2018000	
	同東停車場				4222000	
	富東停車場				7636000	
	村集所停車場				505000	
	大内停車場				250000	
						10400000
機械場費	概 園 車 台	0	20000000	6000000		
	倉 庫 車 輛	10	2600000	26000000		
	有 蓋 貨 車	5	1500000	8000000		
	無 蓋 貨 車	10	1000000	10000000		
機械場費						5000000
運送費						7280000
建築用汽車費						7500000
建築用具費						2750000
柵垣塹界料費						2250000
電線線架設費		11	22500000			2000000
檢修費						5200000
豫備費						4620200
合計						52000000
合計						52000000

裏面白紙

めく
れ
ず

第 二 一 六 號 大 正 七 年 二 月 二 日 受 領
第 大 正 七 年 四 月 六 日 達 済
淨 書 校 合

監 督 局 長 聖

總 務 課 長 集

技 術 課 長

番 號

案

年 月 日

局 長

成 東 本 部 長 官 社 七 宛

445

115

照會
客自十八日附ヲ以テ線路及工方
法並ニ詳細之圖ヲ送付スルハ
尤モ事柄再攷有之

照會事項 十五

一 木桁應力計算表中院貨車直通運轉場合ヲ
考慮シ軸重十噸以上ノ所定最大活重ヲ追加シ
桁ノ断面ヲ定ムルコト及荒木川橋梁経間十噸ニ
対シ大分ノ大ニ武藏川橋梁経間十噸、田原川
橋梁経間十噸、大分ノ大ニ武藏川橋梁経間十噸、田原川
橋梁経間十噸ニ對シ應力
計算ヲ缺ク

二 浅野セメント会社専用軌道トノ平南交叉ニ對シ着
人ヲ常置シ守江停車場ト相互ノ合同又ハ電
氣連絡設備ニ依リテ専用軌道閉鎖ノ時ヲ知ル
セシ橋梁設置スルコト

三 列車ノ行進ヲ爲ス停車場ノ外ハ場内信号機

一、常置スルニ及ス
 二、杵築及富津河内等ニ設置スル場内信号機ハ最
 端轉轍器外車輛入換ニ要スル必要距離ヲ保ツ
 位置ニ移設スルコト
 三、杵築河内等場内ニ設置スル所及給水所ノ配置ヲ示シ
 尚未等附近ニ圧坑ヲ設置スルコト
 四、富津河内等場内ニ設置スル所又
 井戸ノ配置ヲ図上ニ示スコト
 五、守江河内等場内ニ建物ノ名称不明ナルモノアリ
 八、福井及上ノ木崎河内等橋ノ耐カ不足ナルモノアリ
 九、各跨河内等橋ノ耐カ不足ナルモノアリ
 十、下水渠定規図又ハ工事方法書中下水渠生脚

又基礎ノ材質ヲ示スコト尚瀨田溝橋経間一吸大
 時二列ノ構造ヲ示スコト
 十一、守江及荒木河内橋梁設計図中橋高ヲ異ニスルモノ
 経間連立架設橋脚ニ於テハ木橋架設ノ構造
 ヲ明示スルコト
 十二、辰谷河内橋梁設計図中橋梁ノ木橋定規図ト
 一致セズ
 十三、工事方法書中大項中用地ノ幅員ハ土工定規図ト
 一致セザルモノアリ又同大七項中橋梁ノ箇所敷
 及埋込長短構造等ハ諸般圖及設計圖所載ト
 一致セズ橋梁構造圖面番号ハ設計圖ノ番
 号ト一致セズ

由 集降場及此貨物積卸場定規因中 集降場
 幅ハ停車場同ト一致セザルモノアリ
 十五 不費豫算書中橋梁ノ箇所數及延長並時渠
 一數量ハ設計ト一致セズ

五五

七四五

即

課長

國東鐵道

二 線路及工事方法變更之件

本件車輛ノ箇シ支障ナシト認ム

尚モ車輛ハ大体ノ設計ナリ

74 3 5 25

11

車輪

II 國東鐵道

二 線路及工事方法変更ノ件

右再調スル左部照會ノ要ス

十五 水架道橋ノ設計、更正シテ暗渠ト爲シタルニ依リ工費、豫算

書中橋架費及溝橋費ノ相当更正スルト尚修路圖ニ記載

セシ九哩七千鎰附近徑同、吹古付ニ列濱田溝橋ニ伏樋費、

編入スルコト

八 福井及上木跨修橋柵ノ耐力不充分ナルヲ以テ方杖ヲ設備

スゴト

一 左部事項、前照入會對し四谷未決ノモノナリ

木桁ノ應力計算表(中) 院部車輾直通、場合、追加ノ桁ノ断面

一 所定最大活重、
ヲ定ムコト又荒木川、
武蔵川橋梁、
應力計算、
徑間十呎、
十六分ノ十、
木桁、
三、
對シ

十 井 下水渠、
規定規圖ヲ提出セシ工率、
方法者中、
之對シ、
記載

十 井 井守江川、
橋梁、
設計圖中、
桁高、
異、
果、
車、
運、
車

桁受ノ、
振、
色、
ノ、
既、
ス、
コ、
ト、
木、
桁、
ノ、
架、
設、
ス、
ル、
所、
ナ、
リ

架設橋脚卡於構造不明

十二三層各橋梁設計圖中析、厚、木析定規圖一致

七六

未定規圖中橋梁架設、徑向十四尺、木析、木析定規

由追加

十建策定規圖中、轉傳、定規、旋、轉、傳、深、

轉、又、器、力、引、力、二、抵、觸、

九、六、路、線、人、道、橋、一、析、一、枝、貨、一、示、

二、渡り車と合共専用軌道ト一平面ニ又、対し車ノヤ
 ありし字にほちちトあるまゝ又、電氣通線設備
 中、軌道ノ、依リテ専用軌道ノ開闢ノ期ヲ遅ク
 せん橋梁の重なり

三、列車ノ行進トあるは車場ノ外、場内ノ車場ノ
 中、重なり及ビズ

四、杆梁及電線ノありを、設置する場、信ヲ標シ、
 最端ノ極、各ノ車場ノ換、あるは、あるは、派、派ノ係、

一、
 用之
 通
 見
 現

126

445

第四二六號 大正七年一月五日受領
淨書 校合

第 號 大正七年一月九日受領
立案

總務課長

監督局長

案

番號

年 月 日

局長

宛

同義月紙

めくれず

昭令
昭和十一年七月二十七日附申請（線路及
工事方法変更）件在記事項再掲有
上段

昭令
昭令事項 二十五

昭和十一年七月二十七日
件名 昭令 一次線路及工事方法変更件
即 昭令事項 二十五

本件車輛、同じ文障サレト認ム

備考 本件車輛、大体、設計ミシク追々詳細設計提出、ナリ

6 12 12
7 1 16

35

車務

担任

取扱

監査

國東鐵道

線路及工事方法変更件

右審査スル左記照會ヲ要ス

一線路起點附近鐵道院線路ト併行セシ部分ニ對シ兩線路ノ間係

ヲ明ニセシ線路横断面圖ヲ提出スルコト

平面圖及断面圖

一線路圖中線路終點ニ記載セシ換算哩キ哩キ七鎮八十キ町ハ

キ哩キ七鎮八十キ町ナリ

一線路平面圖中十八哩キ七鎮附近斷續ノ記載ヲ缺ク線路

哩七十餘ニ於て制鉄箇所ノ旧哩程ニ誤記アリ
縦断面圖ト一致セズ

一線路平面圖ニ記載セル溝橋、暗渠ヲ區別レテ線路縦断面
圖ノ記載ト一致セムコトス

一線路縦断面圖中十八哩二十鎮附近清流川橋梁ト縣
道踏切道トノ位置線路平面圖ニ對照ニ顛倒セリ川道
付替ヲ爲スノ意味ナルヤ又四哩四十鎮野辺暗渠区間ニ火
石蓋ナルヤ判明セムコト

一工事方法書第三冊第一項中「附圖第四冊」及「第廿七冊」ノ如シト

記載ニ對シ附圖第廿七號ハ車輛大體設計ノ説明圖ナル

ヲ以テ本項ヨリ及第廿七號「五字」窓ノ削除スルヲ可トス

一 土工定規圖中切取斜面ノ勾配工事ノ方法書能載ト一致トス

尚施工基面ヨリ軌條上面ニ至ル高ヲ記入スルコト

一 添附第拾七號「ダイヤモンド」ノ図及第拾號算模範圍圖

ノ使用箇所ヲ明ニスルコト 尚「ダイヤモンド」ノ図ニ着ルニ他軌

道ト平面交叉ノ寫スガ如シ果シテ然ラバ輕便鐵道施行規則

第十一條第二項「依該線路ノ關係運轉保安法ヲ明ニスルコト

一轉又「チヨウ」設備箇所断面圖中「チヨウ」上面「軌條面」

一高「明」ミルト

一建築定規圖中軌條部、定規軌條部「ボルト」頭部「抵觸」又「枕木」
軌條及「附屬」圖中「軌道」用「ボルト」頭、建築定規、
車輪直徑、車輪「抵觸」部、定規「標準」ト「車輪」外建
軌條部「分輪」部、定規「標準」ト「車輪」外建

一枕木配置圖中「枕木」間「枕木」厚及長「枕木」及「枕木」間「枕木」
配置圖「枕木」間「枕木」厚及長「枕木」及「枕木」間「枕木」
「枕木」間「枕木」厚及長「枕木」及「枕木」間「枕木」

「枕木」間「枕木」厚及長「枕木」及「枕木」間「枕木」
「枕木」間「枕木」厚及長「枕木」及「枕木」間「枕木」
「枕木」間「枕木」厚及長「枕木」及「枕木」間「枕木」

一 軌條及砂浜品図中「スパイキ」ノ長ニ枕木ノ厚ニ対シ過大ナリ
明ニスルト

一 各橋梁設計圖ニ橋台橋脚^{基礎杭}及木造橋脚基礎杭ノ長ヲ
部入スルト
中樑台、枕木、枕木ノ工事方法主ト相違スルヲ

一 高山川橋梁設計圖ニ石造橋脚ノ正面圖ヲ示スコト

一 守江川橋梁設計圖中^{一桁高}断面ヲ異ニセ^{スル異徑間連立架設ノ}橋脚上ニ於テ構造不明ナリ
ハ高差ニ對シ同キレゾラ副桁上ニ挿入レ且ツ側面圖ニ圖示
スルコト

一 木造橋脚定規圖中^{高サノ制限及基礎杭ノ寸法}地盤上最大高ヲ明ニスルト

一、各拱橋梁及拱暗渠拱環石、材質ヲ明ニスルコト
 一、奈多川橋梁設計側面圖ニ記載セル桁ノ長及武蔵川橋梁
ニ架スル徑間十四呎、木桁ヲ木桁定規圖ニ追加スルコト
 設計圖ニ記載、徑間十四呎用桁ノ長ハ誤記ナラズヤ
 一、木桁ヲ架設スル各橋梁設計平面圖ニ左右桁ヲ連繫スル
 「ストラット」及「ワイポール」ヲ設備シテ示スルコト
 一、各跨保人道橋對レ道路ノ種類及桁ノ材質ヲ明シ且テ
 應力計算書ヲ添附スルコト尚カニ伊豫野橋保人道橋設計
 圖中桁ノ材種及部材ニ「ワイポール」ノ裝置ヲ缺ケリ
 一、工費豫算書軌道費中砂利ノ數量過小ナリ如キヲ以テ
 軌條及附屬品並ニ材料品ハ概テノ半價

之ヲ六千五坪ニ變更スルヲ可トス

一、工費豫算總額、資本金對シ超過スル金額、財源ヲ

明ニスルコト

凡ソ土管、伏設、石垣、定規、及、柳、柳、園、開、闢、各、設計、圖、提出
ニ及リサニ、ナル、以テ、送付スルヲ可トス

備考 杵築、連絡、停車場、大、体、設計、ナリ、連テ、九、町、鉄、道、愛

理、局、長、市、役、書、厚、テ、添、附、シ、本、設計、一、認、可、ヲ、申、渡

スル、事、ナリ



委任状

今般上田寧ヲ代人ト定メ尤ノ權

限ラ委任ス
大正六年十月二十七日附線路及工

事方法變更切可
由請書中
附屬圖書共加除訂正關及一切

件

大正七年五月一日

玉京神道株式會社

取締役社長 佐藤 一

關東鐵道株式會社



七三

大正七年十一月六日

大正七年十一月六日

監督局
第6954號
7. 12. 11.

國東鐵道株式會社
常務取締役西田榮作

内閣總理大臣原敬殿

變更登記簿

左記事項、付變更登記致候間、輕便鐵道
法施行規則第二十五條、依り、及所屬候也
一、登記、目的事由

玉東鐵道株式會社、所屬後、藤田于一、大正七年

國東鐵道株式會社

十一月九日、辭任、付、今、十一月十四日、抹消登記簿

供回覽

5158

七

發第四九號

大正六年七月十五日

國東鐵道株式會社
監事 西田繁作

內閣總理大臣原敬殿

變更登記濟南街

在記事項、付變更登記致生間輕便鐵道法
施行規則第二十五條、依り及本局候也

一、登記、目的事項

玉東鐵道株式會社西田後欠欠及監查役任

國東鐵道株式會社

期滿了、大正六年六月、臨時株主總會に於
て選舉、行ふに、在記之、當選就任片之、
於錄登記簿

大阪市三賣坂市通四丁目式番地

西田後 多田次平

大分縣東国太郎村大字重茂若七振番地

監查役 高橋千十郎

大分縣速見郡八坂村大字高振番地

監查役 八坂三治

以上

2706
監 督 局
第 294 號
8. 7. 19

5
7

三



昭和十八年八月廿一日	昭和十八年八月廿一日
大正十八年八月廿一日	大正十八年八月廿一日
日数	日数
即	即

劉附先
張長壽
書

服法



國東鐵道

一 工程表程出

工程報告台帳記入簿

五八廿一

玉東

工程表提出

大原英陽

地方鉄道規則第十九条依り提出

傷者

工事者中

工事場所敷設

大正六年四月一日

大正九年九月二十日

Handwritten text in Japanese, likely a document or letter, written in cursive (sōsho) style. The text is arranged in vertical columns, reading from right to left. The ink is dark on a light-colored paper. The document appears to be a page from a larger volume, as indicated by the binding edge on the left.

監督局
第3452號
8. 8. 20



第廿五編

大正八年八



鐵道株式會社

取締役 西田榮作

鐵道院監督局長殿

弊社大正七年下半期并大正八年上半期工程表
別紙ノ通提出致候也

國東鐵道株式會社

八段富來間工程表

延長 廿二 哩八 釐

大正八年六月三十日

	總 量	前期末成工歩合	現在成工歩合	備 考
測 量	22 哩 38. 釐	100.	100	
用 地	376. 反	84.	93	
土 工	118,050. 立坪	60	72	
橋 梁	1,535. 延長呎	23	43	総量1535呎以内葎延長235呎合
隧 道	0 延長呎	0	0	
軌 道	24 哩 48 釐	0	0	
電 線 路	22 哩 15. 釐	0	0	
停 車 場	11. 箇所	27.	27.	総量11ヶ所以内葎大内、俣留場合
發 電 所	0 箇所	0	0	
變 電 所	0 箇所	0	0	

- 備考 1. 總量欄ニハ記載ノ單位稱呼ニ依リ實數量ヲ記載スルコト
 2. 前期末及現在成工歩合ノ欄ニハ孰レモ總量欄ノ數量ニ對スル六月又ハ十二月末日現在ノ成工數量ノ割合ヲ百分率ニテ記載スルコト
 3. 備考ノ欄ニハ前提出ノ工程表記載ノ數量異動シタキ又ハ工程進捗セザルトキハ其ノ理由其ノ他參考ナルヘキ事項ヲ簡記スルコト
 4. 工事一部竣功開業シタル後ニ於テハ殘部未開業區間ニ對スルモノヲ記載スルコト

裏面白紙

國東 輕便鐵道

八坂島末間工程表

延長 卅二 哩三八鎖

大正七年十二月三十一日

	總	量	前期末成工歩合	現在成工歩合	備 考
測 量	哩	22.38	100	100	
用 地	反	376	80	84	
土 工	立坪	118,050	56	60	
橋 梁	延長呎	1535	14	23	延長1535呎收溝橋延長235呎の合
隧 道	延長呎	0	0	0	
軌 道	哩	24.48	0	0	
電 線 路	哩	22.15	0	0	
停 車 場	箇所	11	27	27	延長11箇所收併築町大改修場の合
發 電 所	箇所	0	0	0	
變 電 所	箇所	0	0	0	

- 備考 1. 總量欄ニハ記載ノ單位稱呼ニ依リ實數量ヲ記載スルコト
 2. 前期末及現在成工歩合ノ欄ニハ軌レモ線量欄ノ數量ニ對スル六月又ハ十二月末日現在ノ成工數量ノ割合ヲ百分率ニテ記載スルコト
 3. 備考ノ欄ニハ前提出ノ工程表記載ノ數量異動シタトキ又ハ工程遅延セサルトキ其ノ理由其ノ他參考トナヘキ事項ヲ續記スルコト
 4. 工事一部竣功開業シタル後ニ於テハ殘部未開業區間ニ對スルモノヲ記載スルコト

裏面白紙

管茅七十二種

夏更冬比濟之由

古記中次之曰袁更於此陟台地方禱道法
穆有規則第五十一條之條乃以備矣也

大正九年九月十七日

電 報 局
第 461 號
8. 9 22

内閣総理大臣原敬殿

一、登記自的事項

玉東神道株式傳社所締收多因次小大正八年八月
式拾七番修葺抹消冬記濟

國東鐵道株式會社

永

8 22
3792

国立公文書館
National Archives of Japan

101

111

人三五
評長
安

國東鐵道

件名 工程表提出件

本件支障無ト認ム

備考 大正六年六月現在ヨリ軌道及電線路ニ於テ今期

間迄何等工事進捗ナシ

二書帳記入済

筆後印期限 九、九、二二

玉女
工役表提出

九三三

監督局
監第117號
9 3. 13.

六書對元御回答二遠見部持筆西百
道株式會社出張所手御發送相成度也

各第云云

大正九年



道株式會社

西條後西田繁作

藏道院監新向長佐竹三郎

幣社大正九年下月期工役表紙、向提付也



八坂富永間 工程表

延長 一二哩入銷

大正八年十一月廿一日

		量	前期末成工步合	現在成工步合	備	考
測	量	哩 鐵	150	100		
用	地	反	93	95		
土	工	立坪	72	80		
橋	梁	延長呎	4.3	50	係量1535'由滿作止是35'合	
隧	道	延長呎	0	0		
軌	道	哩 鐵	4 4.8	0		
電	線	哩 鐵	2 15	0		
停	車	箇所	11	30	係量11'所由作集助大由停箇所合	
發	電	箇所	0	0		
變	電	箇所	0	0		

例 1. 補正係数 α の求め方 (例として、 $\alpha = 0.05$ の場合)

●前期末及現在比ノ開ニハ孰レモ總量ノ數ニ對シ六月又ハ十二月末日現在ノ成工數量ノ割合ヲ百分率ニテ記載スルコト

4 工事一部成功後、後ニ於テ修理未開區區ニ對スルモノ、ノ、記載スルコト

4.工事一部成功開港後ニ於テハ殘部未開港區間ニ對シテハ、22 號燈ヲ點ス。

裏面白紙



監督局
監字第4043號
9 9. 29

第172號
鐵道省

丁子

發第六三號

變更登記簿

左記事項自變更登記簿之日起其土地鐵道
法施行規則第五十一條之依り及以前候也

大正九年九月五日

鐵道株式會社

會社事務所

鐵道大臣元田肇殿

一、登記目的事項

玉東鐵道株式會社西歸後滿期之日大正九年九月五日
月各指土地當時株主總會之改選を行はる

國東鐵道株式會社

左記ノ、常選就任之日ノ、株主總會

大分縣東玉東村高來所

大分縣東玉東村高來所

西田榮作

大分縣東玉東村高來所

大分縣東玉東村高來所

清國要平

大分縣東玉東村高來所

大分縣東玉東村高來所

高木次郎

大分縣東玉東村高來所

大分縣東玉東村高來所

大石大

今上監査役八坂三治大正九年五月式指書
辭任、付抹消、記済

今上取締役及監査役補欠、大正九年八月
指、臨時株主総会、於、選舉、於、在
記、之、當選就任、付、之、力、之、抹消、記済

兵庫縣武庫郡西宮町

宮田、地、計、四、拾、七、番、地、一、号

取締役 山本知宏

大分縣南部郡神宮村

大字鶴望、計、拾、七、番、地

取締役 木村福太郎

國東鐵道株式會社

大分縣速見郡杵築町大字杵築

四百四拾壹番地

取締役 徳丸 護

大分縣東國東郡高梁町

大字高梁浦、計、四、拾、六、番、地

取締役 橋本 毅小

大分縣東國東郡中津村

大字高梁浦、計、四、拾、六、番、地

監査役 後藤 一郎

以上

一六

一三三

本件工程費帳記入済

件名 國東鐵道
工程表提出件

九九廿四

男也

利安永

湯抄
東分筆壇切軒限
五期圖
九年後
し

筆壇切軒限
九、九、二、二

五、東
不
親
表
撰
本

保
元
世

又



後第六。号

大正九年九月十日

乙东洋道株式会社

半信可保收信金銀券

鐵道有監督局

本月16日自東京第三七五號以照應之儀。本年有書白近八次。高
本官工程表。可代。提出。付。矣。也

國東鉄道

八坂宮未開工程表

延長二十二哩三十八分

大正九年六月三十日

測量	測量	前期未開工程合	現在工程合	備考
測量	22.38	100	100	
測量	396	95	95	
測量	11R.050	80	80	
測量	1.535	50	50	延長1.535由溝渠延長2.35分
測量	1.535	50	50	
測量	22.15	0	32	
測量	11	30	30	延長1.12分中村未明大内溝渠所在所



癸卯六七號

變更登記御届
左記事項ニ付變更登記致意間地方
鐵道法施行規則第五十一條ニ依リ此
段及御届奉也

大正九年十一月十二日

大分縣東部郡國東町

國東鐵道株式會社
常務取締役 木許雄太郎

鐵道大臣 元田 肇 殿

國東鐵道株式會社

登記月的事項

一 國東鐵道株式會社取締役中左記
氏名大正九年拾月九日辭任二件持
消登記部

大改府西成郡玉出町九百九十九
番地

大石 大

大分縣東國東郡世嘉崎村
大字赤松四百番地

西田 榮作

一 大正九年十月二十日國東鐵道株式會社
臨時株主總會三旅千監查役氏名補
欠選進手、度左記、者、選就任三月之

力登記部

大分縣東國東郡后田末町
大字東堅末一百六番地

一井 源吉

以上

監督局
監第5062號
9.12.8

供四覽

十一
三

大正九年十二月五日

國東鐵道株式會社
取締役 木村 太郎

鐵道省監督局
御中

當會社事務取扱上都合ニ依リ
左記出張ニ於テ本社事務其
一切事務ニ就事致居其間此段
及所由也
左記

受送記大ニ

大分縣速見郡杵築町
國東鐵道株式會社
杵築出張所

